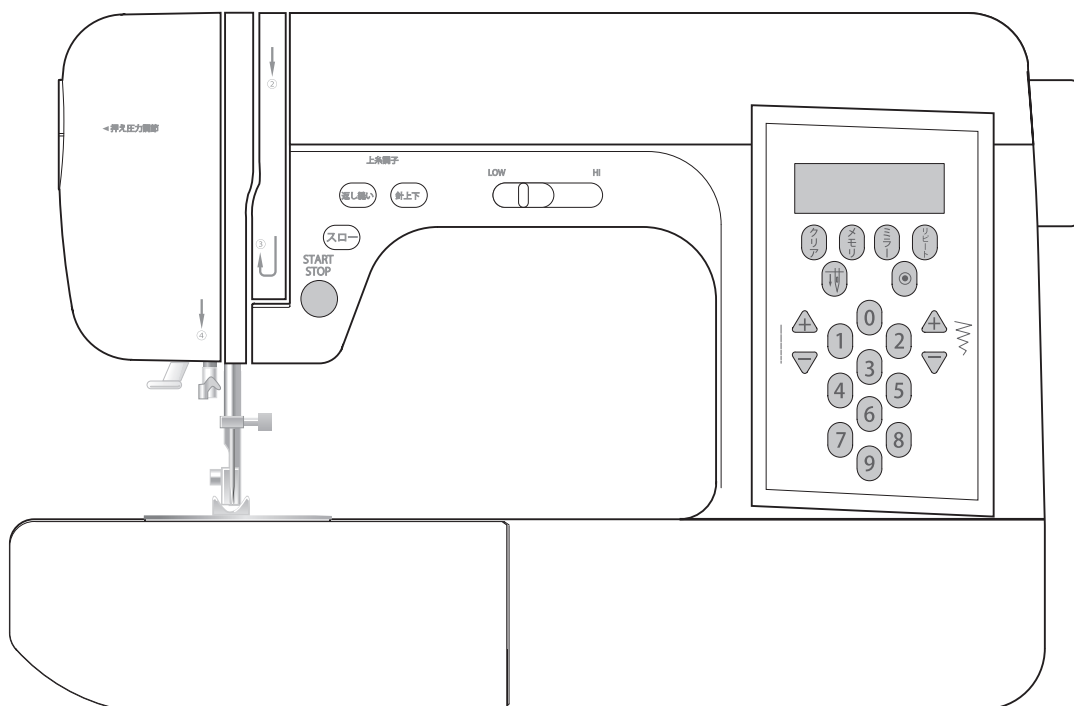


取扱説明書

型式：FL-8600 シリーズ

Computer Sewing Machine



お買い上げいただきありがとうございます。



株式会社 アックス トマザキ



電気製品は安全のための注意事項を守らなければ、火災や人身事故になる場合がございます。
この「取扱説明書」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、この製品を安全にご使用ください。

また、お読みになった後はいつでも見ることが出来るように、必ず保管してください。

もくじ

お使いになる前にお読みください

安全上のご注意	2
取り扱いのお願い	3
付属品	4
補助テーブル	4
各部の名まえ	5

操作の仕かた

返し縫いボタン	6
スローボタン	6
針上下ボタン	6
ドロップフィード（送り歯高さ切り替え）	6
押え圧力調節ダイヤル	6
押え	7
押えホルダーの取り外しかた・取り付けかた	8
針ガードの取り外しかた・取り付けかた	8
電源を入れる前に	9
電源を入れる	9
スピード調節	10
フットコントローラー	10
操作パネル	11
模様の選びかた	12

縫う前の準備

ボビンの取り出しかた	13
下糸の巻きかた	13
下糸のセット	14
上糸の掛けかた	15
針穴糸通し器	16
下糸の引き上げかた	17

縫ってみる <基本編>

直線縫い	18
返し縫い	19
針、糸、生地の関係	19
糸調子の合わせかた	20
縫い目の長さを変える	21
針の位置を変える	21
縫い方向を変える	22
1 厚地を縫う	22

伸縮生地を縫う	22
---------	----

縫ってみる <応用編>

縁かがり縫い	23
文字縫い・絵柄縫い・飾り縫い	24
スマッキング	26
スムーズ押え	27
パッチワーク	27
アップリケ	27
ゴムテープ付け	28
スカラップ	28
まつり縫い（ブラインドステッチ）	29
ギャザー押え	30
ピンタック	31
シエルタック	31
直線縫いガイド	32
ガイド押え	32
ファスナー付け<突き合わせ>	33
ファスナー付け<脇あき>	34
コンシール®ファスナー付け	35
ボタンホール縫い	37

お手入れ

針の取り替えかた	39
正しい針の選びかた	39
ボビンケースのそうじ	40

その他

縫い模様一覧	42
困ったときは…	43
仕様	44
修理サービス要領	45
お問い合わせまたはご相談先	45
サービス工場のご案内	45
MEMO	46
保証書	終

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。








この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。以下の表示を無視して誤った取り扱いをすることにより生じる内容を、次のように区分しています。














以下の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。







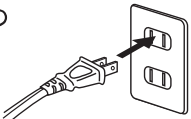


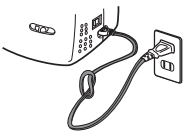





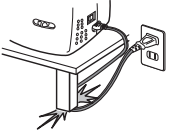
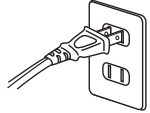
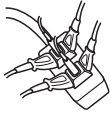
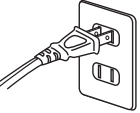
- このミシンは日本国内向け家庭用です。For use in JAPAN only.国外での使用および職業用としてご使用になった場合の保証は出来ません。
- 仕様および外観は品質改善のため、予告なく変更することがあることをご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製をすることは禁じられておりますのでご了承ください。

 警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。	 注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人がケガをしたり財産に損害が生じる恐れがある内容を示しています。
---	---	---	--

この説明書で使用している絵文字の意味は次の通りです。

危険性を促す記号			行為を「禁止」する記号		行為を「指示」する記号	
						
火災の原因になります	感電の危険性があります	ケガの危険性があります	禁止	分解禁止	必ずすること	電源プラグを抜く




 注意	  	ケガや財産に損害が生じる恐れがあります。	
<ul style="list-style-type: none">  不安定な場所に置かないでください。  動作中に、はずみ車・針・天びんに手を触れないでください。 手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。 曲った針は使わないでください。 針が折れ、ケガの原因になります。 ポビンカバーを開けたままミシンを操作しないでください。 縫製中に生地を無理に引っばったり押ししたりしないでください。 手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。 電源コードを巻きとる際は電源コードプラグと電源コードを持って巻き取ってください。 電源コードが当たって、ケガの原因になります。 	<ul style="list-style-type: none">  火の気のあるもののそばでは使用しないでください。 (火の消えていないタバコ、ロウソクなど) 火災の原因になります。  ミシン本体の換気口をふさがないでください。 換気口は、必ず壁から30cm以上離してご使用ください。 また、換気口に糸くずやホコリが溜まらないようにしてください。 火災の原因になります。 スプレー製品などをご使用の部屋では、使用しないでください。 スプレーへの引火によるヤケド・火災の原因になります。 	<ul style="list-style-type: none">  電源コードは巻き付けしないでください。 コードの断線や接触不良による感電の原因になります。 濡れた手で電源コードプラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。 電源コードは赤い印以上、引き出さないでください。 	<ul style="list-style-type: none">  幼児の手が届かない場所に保管してください。 針や押えなどの突起でケガの原因になる恐れがあります。  糸をセットするときやミシンの手入れを行うときは電源スイッチを『OFF』にしてください。 作業途中にミシンが動く恐れがありケガの原因となります。  ミシンの操作中はミシンから目を離さないでください。 交換した針を放置しないでください。 お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは特に安全に注意し、お子様から目を離さないでください。  針、押え、アタッチメントを交換するときは、電源コードプラグをコンセントから抜いてください。 作業途中にミシンが動く恐れがありケガの原因となります。 屋外や直射日光のあたる場所、高温多湿な環境、寒い場所での使用は避けてください。 部品の劣化や変形、正常に作動しないことがあります。 ミシン本体は必ず手持ちハンドルを持って持ち運びをしてください。 他の部分を持つとこわれたり、滑って落とすケガの原因になります。 ミシン本体は7.3kgあります。ミシン本体を持ち運ぶ際は、急激・不用意な動作をしないでください。 ケガの原因になります。 電源コードを引き抜くときは電源コードプラグを持って抜き差ししてください。 コードの断線や接触不良による感電の原因になります。

 警告		 		死亡、火災、感電の恐れがあります。	
   火災・感電の原因となります。	一般家庭用電源AC100Vの電源以外では絶対に使用しないでください。 AC100V 50/60Hz 		ミシンの中に水や異物が入ったときは、電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜いてください。 		
	電源コードを傷つけたり、折り曲げ、結び、ねじれ、加工はしないでください。 * 電源コードがミシンに収納出来なくなります。 		発煙や異臭、異音などの異常が発生したら電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜いてください。 		
	傷付いたり、溶けて線がむき出しになったコードを使わないでください。 * コードが傷付いた場合は販売店・サービスセンターにて純正部品をお買い求めください。 		落としたり正常に作動しないときは電源コードプラグをコンセントから抜いてください。 		
	電源コードに机や椅子の脚など、重いものを載せないでください。 	火災・感電の原因となります。 販売店・サービスセンターにご連絡ください。	電源コードプラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 		
	延長コードや分岐コンセントを使用したタコ足配線はしないでください。 		ミシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。 		

取り扱いのお願い

永くお使い頂くため、次のことを守ってください。

縫製以外や業務用、職業用の目的には、ご使用にならないでください。極度の部品摩耗や破損につながります。

 注意		 		ケガやミシンの故障が発生する恐れがあります。	
--	--	---	--	------------------------	--

■ 曲がった針を使わない

曲がった針を使うと、次のようなケガや部品の損傷につながります。

・針穴に刺さらず、折れた針が飛びケガをする恐れがあります。 ・押えや針板に傷を付け、糸調子が合わなくなります。

■ このミシンで縫えないもの

つぎのものはこのミシンでは縫えません。針やモーターなどに過度の負担をかけ、故障の原因になるだけでなく、針折れなどの原因にもなります。

・木、プラスチック、金属などの板・ぬれた生地、粗い網(漁網など) ・はずみ車を手で回しても、針が刺さりにくい生地、厚さ6mm以上の生地

■ 保管時の結露(つゆつき)について

寒いところから、暖かい室内に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋では、本体の表面や内部に結露(つゆつき)が起こることがあります。結露がなくなるまで、電源コードプラグをコンセント(家庭用電源)に接続しないでください。そのままお使いになると感電や誤動作・故障の原因になります。

■ 直射日光・熱気をさける

直射日光が当たる場所や熱器具の近くには置かないでください。プラスチックのカバー部分や内部部品に変色・変形や部品劣化などの悪い影響を与えますのでご注意ください。

■ 糸絡みのとき、糸・生地を引っばらない

針や部品の破損します。

■ ミシン表面のお手入れ

プラスチック部分の汚れがひどいときは、中性洗剤をぬるま湯に薄め、布に浸してかたく絞り、乾いた布で仕上げてください。

* ベンジン・シンナー・ワックスなどで拭かないでください。

■ 説明書で指定された以外の分解・改造はしない


ネジ類の締め忘れやゆるみにより、針折れや部品の破損につながります。

■ 長期間ご使用にならないとき


長期間ご使用にならないと、油の乾燥・固着などで機能に支障をきたす場合があります。時々、ミシンを動かしてください。油の固着を防ぐことができます。

■ ミシンの上に物を載せない/ミシンの上に乗らない

ミシンに負担がかかり故障の原因になるだけでなく、ミシンが倒れたりしてケガの原因にもつながります。

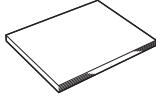


注意



・付属品でお子様がかがをする恐れがあります。
保管には充分ご注意ください。

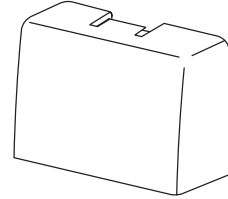
● ミシンと同梱されている付属品



取扱説明書（本書）

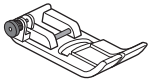


フットコントローラー

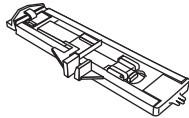


ミシンカバー

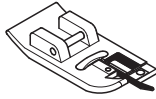
● 補助テーブル内の付属品



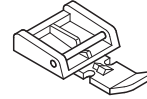
ジグザグ押え
（本体にセット）



ボタンホール押え



縁かがり押え



ファスナー付け押え



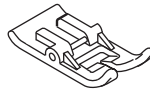
コンシール®ファスナー押え



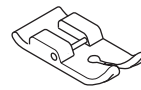
サテン押え
（透明）



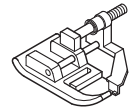
ギャザー押え



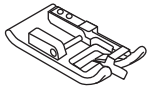
スムーズ押え



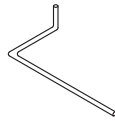
直線押え



まつり縫い押え



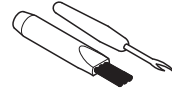
ガイド押え



直線縫いガイド



針板ドライバー



リッパー
（ブラシキャップ付）

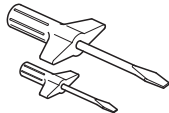


家庭用ミシン針 5本

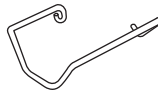
*16番：1本
14番：2本
11番：2本



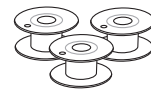
糸こま押え
（大・小各1個）



ドライバー
（大・小各1本）



針ガード

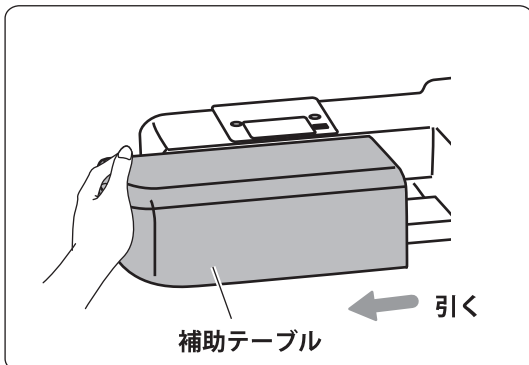


ボビン 3個

*家庭用プラスチックボビン
（11.5×20.5mm）

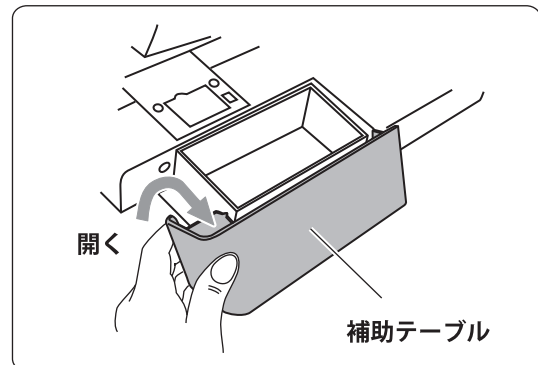
補助テーブル

● フリーアーム



ズボンの裾上げなど筒物を縫う際は、補助テーブルを左に引いて外します。

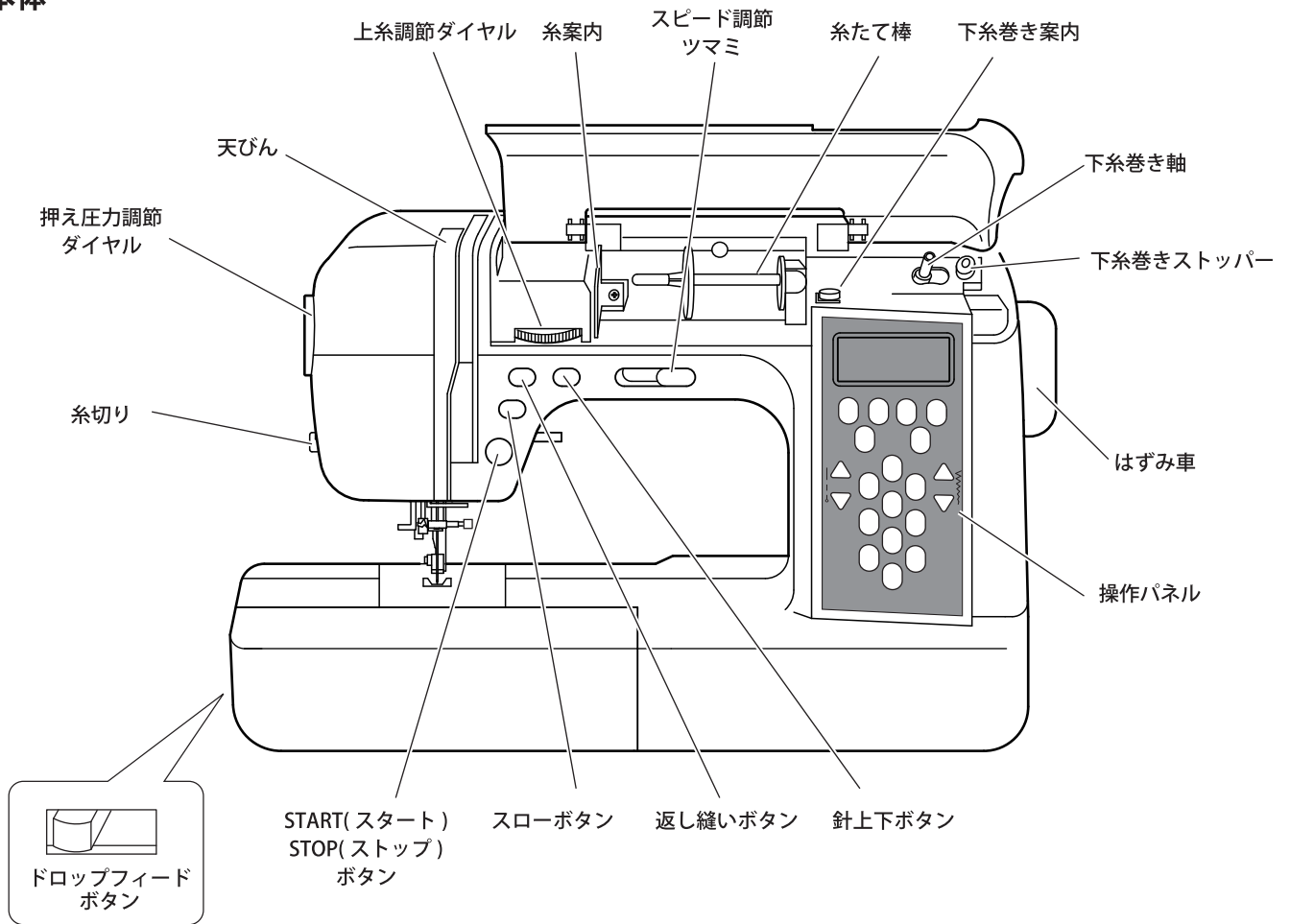
● 付属品の出し入れ



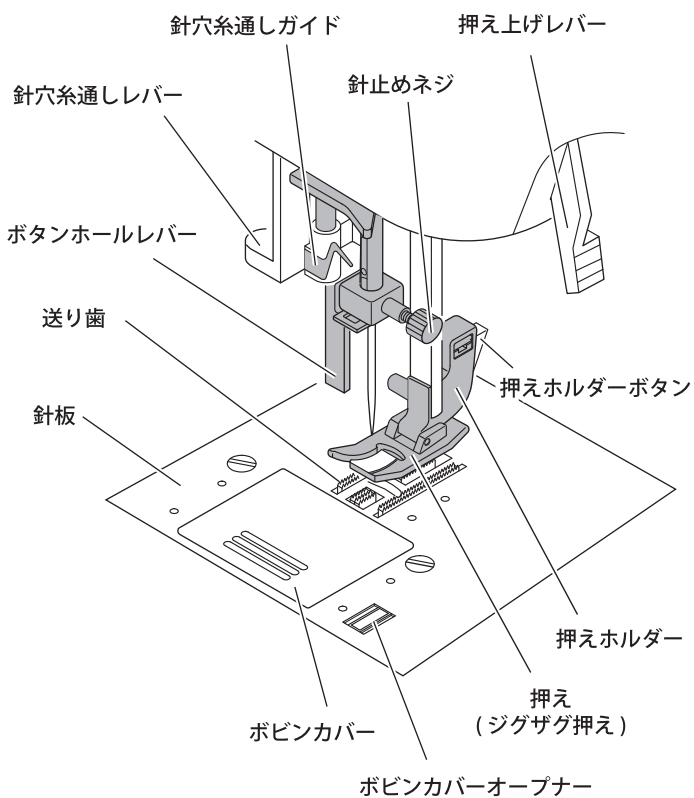
補助テーブルを手前に開くと付属品の出し入れが出来ます。

各部の名まえ

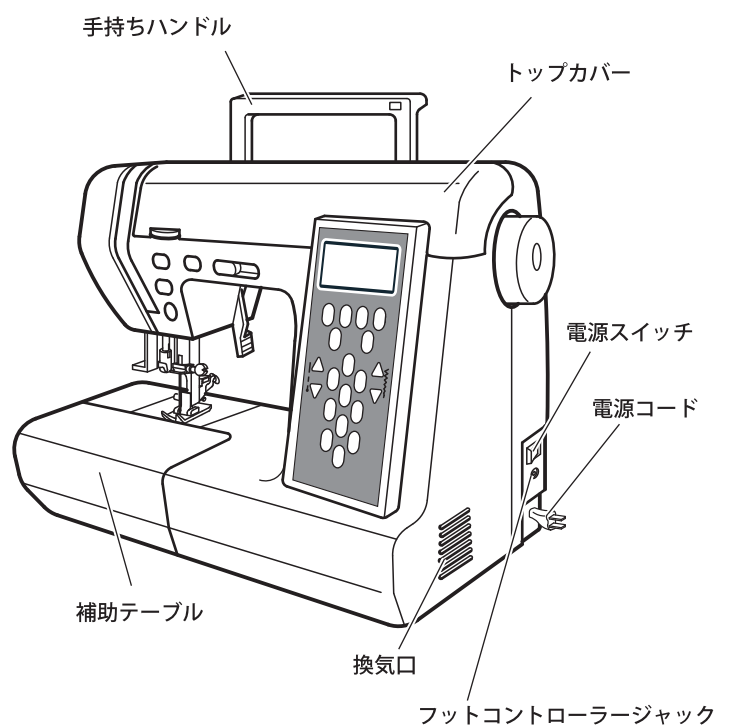
● 本体



● 針周辺



● その他



返し縫いボタン

返し縫いボタンを押している間は返し縫いになります。
(返し縫い中の速度は低速になります。)
縫い始めと縫い終わりに返し縫いを行うと
ほつれ止めになります。

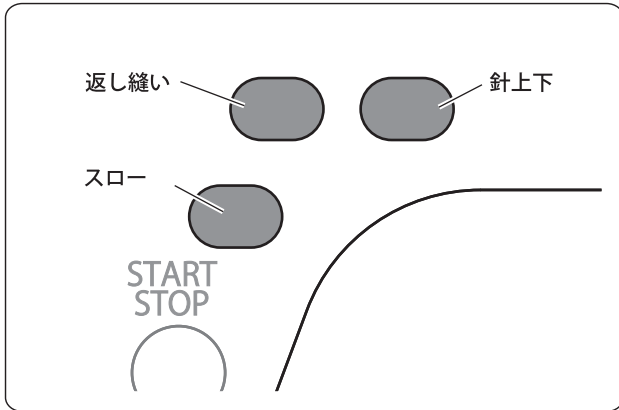
スローボタン

スローボタンを押している間は縫い速度が
<低速>になります。

針上下ボタン

針が上がっている状態で針上下ボタンを押すと
針が下がり、針が下がっている状態で
針上下ボタンを押すと針が上がります。

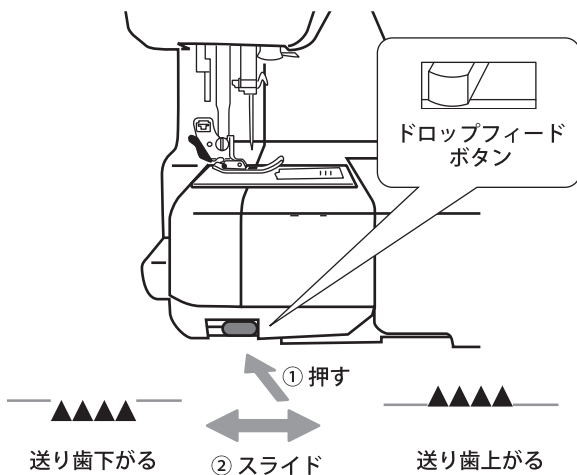
* 押えを下げた状態でご使用ください。
(押えが上がった状態では、針は上で停止します。)



ドロップフィード (送り歯高さ切り替え)

刺しゅうやキルトなど生地を手で動かして縫う際に、送り歯を下げる事が出来ます。

< ミシン左横図 >



● 送り歯を下げる場合

『ドロップフィードボタン』を押し込みながら、ミシン後方へ
『ドロップフィードボタン』をスライドさせます。

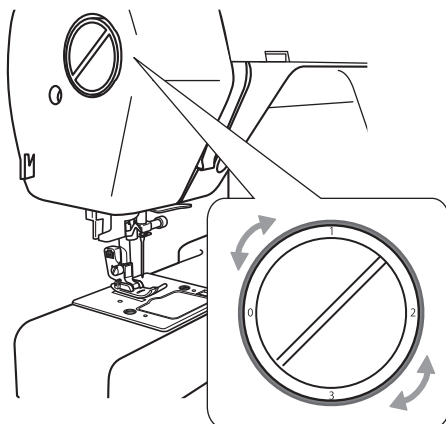
● 送り歯を上げる場合 (通常縫い)

『ドロップフィードボタン』を押し込みながらミシン前方へ
スライドさせます。

* 『送り歯』が上がってこない際は、『はずみ車』を
手前に1回転すると『送り歯』が上がります。

押え圧力調節ダイヤル

生地の厚さやすべり具合によって、生地を押える押え金の圧力を調節することが出来ます。



● 薄地、やわらかい生地の場合

『押え圧力調節ダイヤル』を小さい数字へ回します。

● 厚地、すべりの悪い生地の場合

『押え圧力調節ダイヤル』を大きい数字へ回します。

* 通常は【2】でご使用ください。



注意



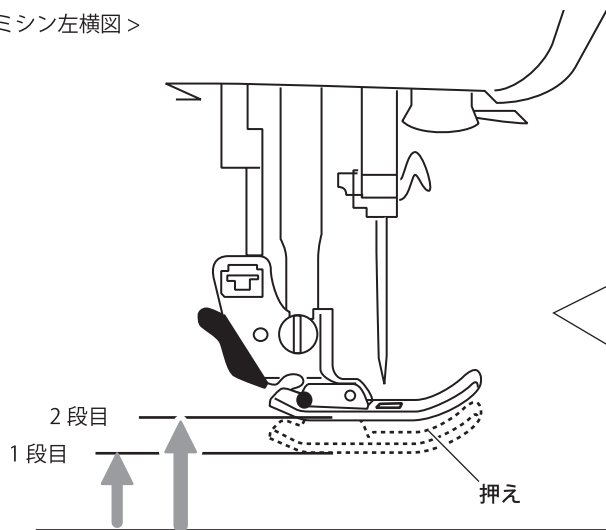
・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとかげをする恐れがあります。



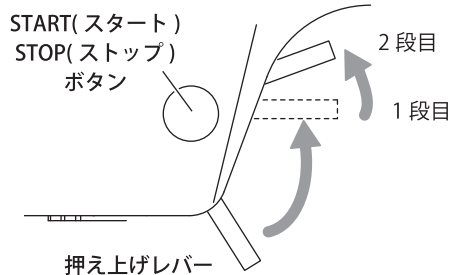
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

● 押えの上げ下げ

<ミシン左横図>

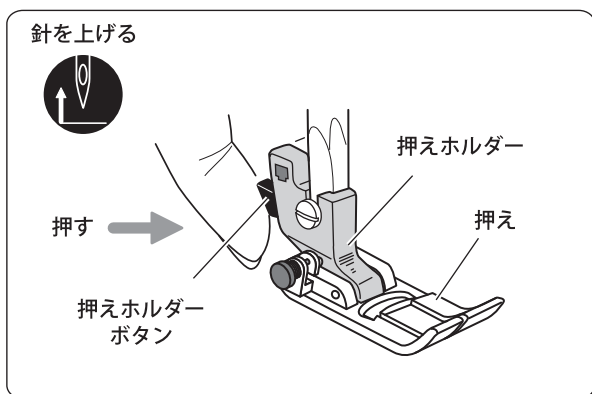


<ミシン正面図>



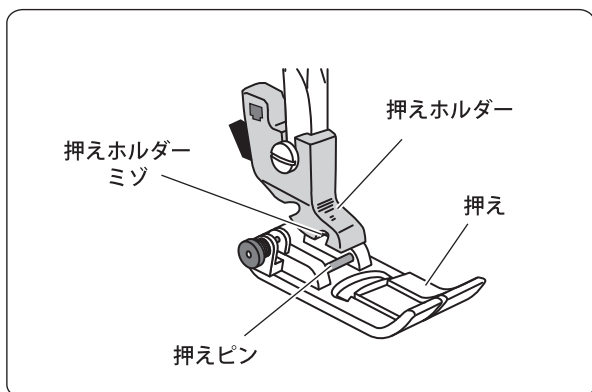
- 『押え上げレバー』を上げると、『押え』が上がります。
- 更に『押え上げレバー』を上げると、『押え』がもう一段上がる2段階式になっています。
- *2段目では固定が出来ません。
- *生地の高さは1段目の高さを超えないようにしてください。
- *『押え』が上がっていると『START(スタート)/STOP(ストップ)』を押しても針は動きません。

● 押えの外しかた



- 1 『はずみ車』を回し、針を最上位にします。
- 2 『押え上げレバー』を上げます。
- 3 『押えホルダーボタン』を押すと、『押え』が外れます。

● 押えの取り付けかた



- 1 針と『押え上げレバー』を上げます。
- 2 『押えピン』を『押えホルダーミゾ』の真下に置きます。
- 3 『押え上げレバー』をゆっくり下げ、『押えピン』と『押えホルダーミゾ』を合わせます。

きちんと押えがセットされると『カチッ』と音がします。音がしない場合や押えがすぐに外れる際はもう一度合わせ直してくださいね。



押えホルダーの取り外しかた・取り付けかた



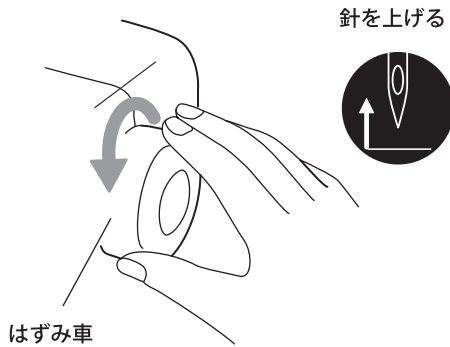
注意



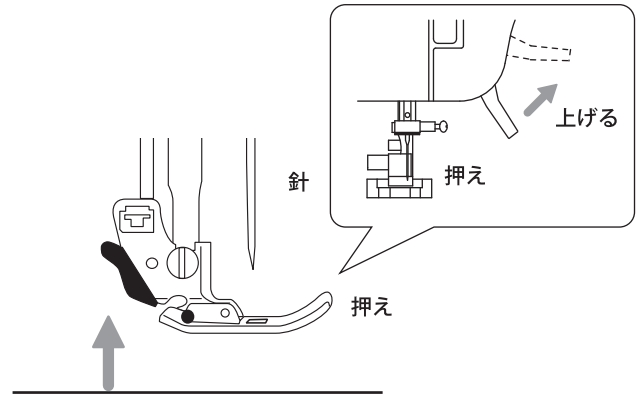
・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとかげをする恐れがあります。



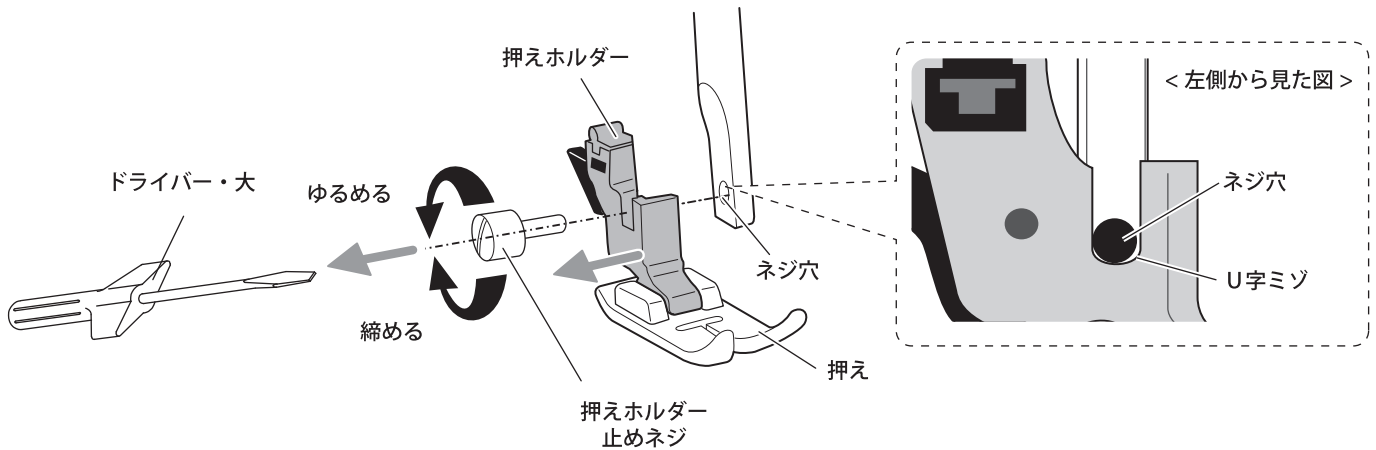
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



1 『はずみ車』を手前に回し、針を最上位にします。



2 『押え上げレバー』を上げます。



3 外す：『押えホルダー止めネジ』を『ドライバー・大』でゆるめ外します。
付ける：『押えホルダー』のU字ミツと『ネジ穴』の位置を合わせます。
『押えホルダー止めネジ』を『ドライバー・大』で締めます。
* 付属の『ドライバー・大』をご使用ください。

針ガードの取り外しかた・取り付けかた



注意

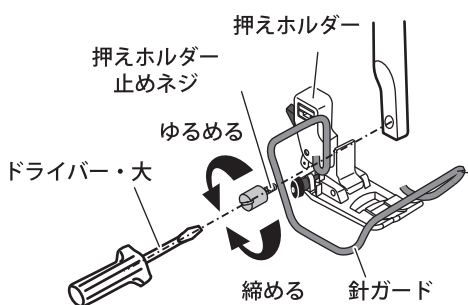


・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとかげをする恐れがあります。

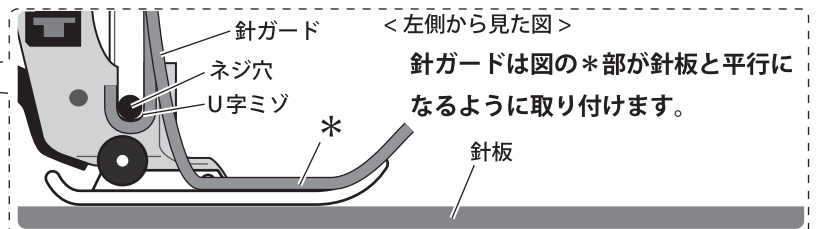


・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

- ・このミシンには針先に手が触れるのを防ぐために針ガードが付属されています。
- ・アタッチメントには、針ガードを外さなければ装着することが出来ないものもあります。



取り外す：押えホルダー止めネジをドライバー・大でゆるめ外します。
取り付け：押えホルダーと針ガードのU字ミツとネジ穴の位置を合わせます。
押えホルダー止めネジをドライバー・大で締めます。



電源を入れる前に

縫い損じを防ぐため、次のことを実施してください。



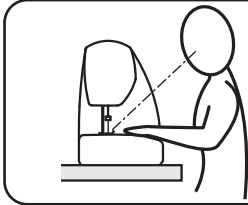
注意



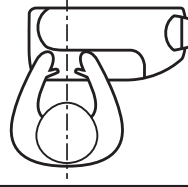
- ・安定した場所に設置する。
- ・作業スペースを十分に確保する。
- ・周囲に物を置かない。

はずみ車や針など動く部分が露出しています。ケガの原因になります。

● ミシンをより快適に使うために



針先が無理なく見える位置にミシンを設置してください。



針の中心と身体の中心が一致するようにミシンを設置してください。

はずみ車を手で回してみる。

ミシンが正常に動くかを確認します。

針が曲がっていると、針が釜に当たったり針穴に刺さりません。

電源を入れる



注意



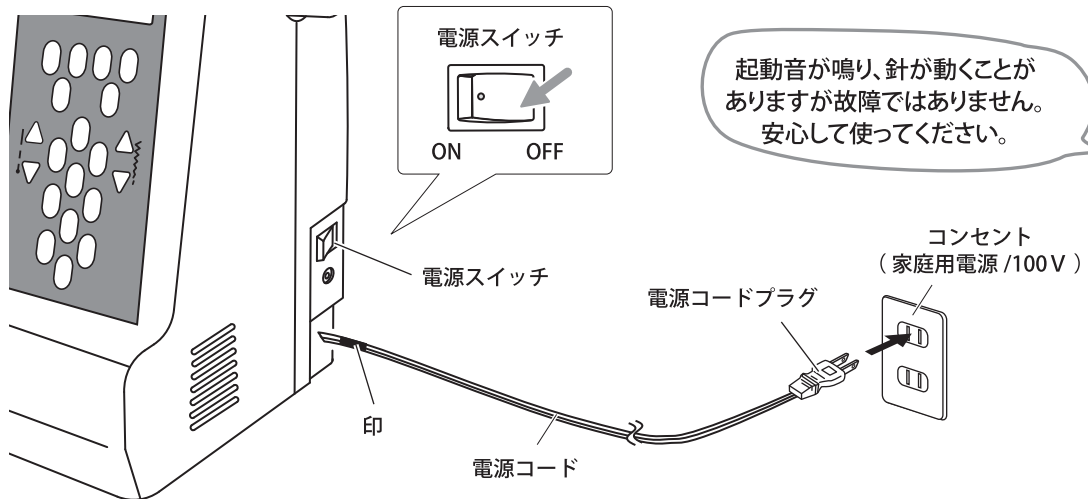
- ・電源スイッチを『OFF』にする。
 - ・はずみ車や針周辺に手や物を置かない。
- 突然動くとケガをする恐れがあります。



警告



- ・電源コードはプラグ部分を持って抜き差しする。
- コードを引っ張ると、電源コード部分が破損し、死亡、火災、感電、機器故障の原因になります。



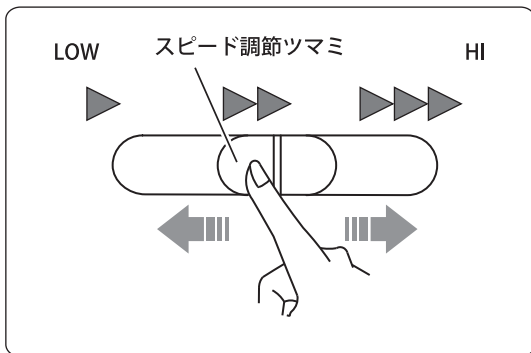
- 1 『電源スイッチ』を『OFF』にします。
- 2 『電源コード』を引き出し、コンセント (家庭用電源 /100V) に『電源コードプラグ』を差し込みます。
- 3 『電源スイッチ』を『ON』にします。(『液晶画面、ランプ、START(スタート)/STOP(ストップ)』が点灯します。) * 起動音が鳴り、針が動くことがあります。故障ではありません。
- 4 『START(スタート)/STOP(ストップ)』が青く点灯している際に『START(スタート)/STOP(ストップ)』を押すとミシンが動き始めます。
- 5 もう一度押すとミシンが止まります。(『START(スタート)/STOP(ストップ)』が赤く点灯している際は動きません。)

* 使用後の『電源コード』収納時は再度3~5cm引き出し、『電源コードプラグ』と『電源コード』を持って巻き取ってください。

* コードリール部分は印が見えたら、それ以上は引き出さないでください。『電源コード』部分が戻らなくなってしまう可能性があります。また、断線の原因にもつながります。

スピード調節

ミシンの運転速度を好みのスピードにセットします。



LOW: 『スピード調節つまみ』を左方向へスライドさせます。

HI: 『スピード調節つまみ』を右方向へスライドさせます。

フットコントローラー



注意



- ・電源スイッチを『OFF』にする。
- ・はずみ車や針周辺に手や物を置かない。突然動くとケガをする恐れがあります。



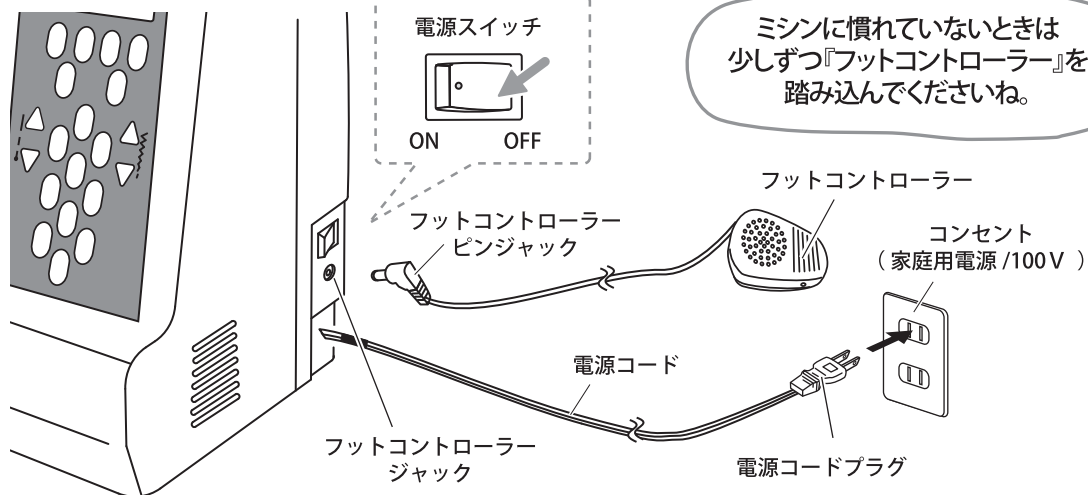
警告



- ・作業後はフットコントローラーピンジャックをミシンから抜く。

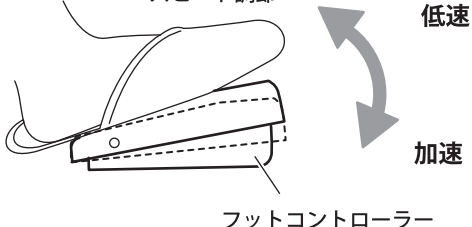


- ・フットコントローラーに物を載せない。

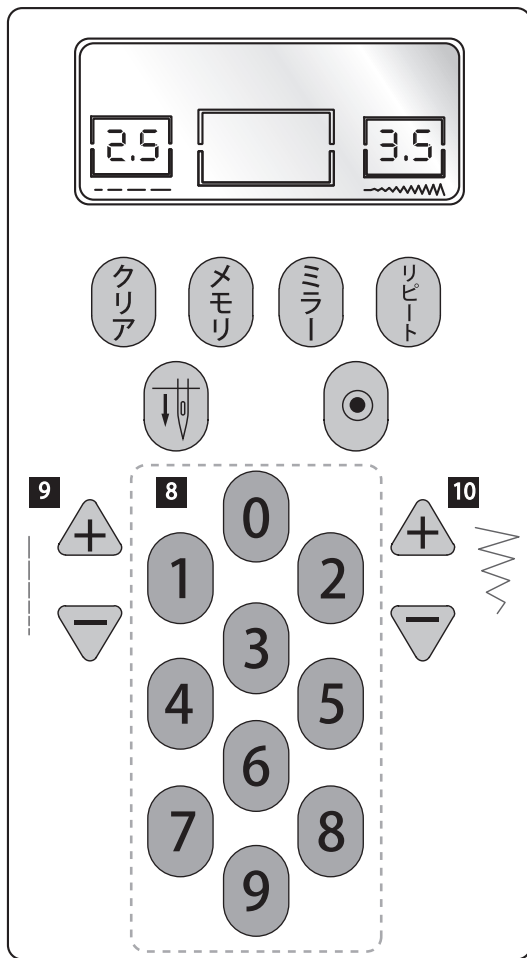


- 1 『電源スイッチ』を『OFF』にします。
- 2 『フットコントローラーピンジャック』をミシン本体の『フットコントローラージャック』に奥まで差し込みます。
- 3 『電源コードプラグ』をコンセント(家庭用電源/100V)に差し込み、『電源スイッチ』を『ON』にします。
- 4 『START(スタート)/STOP(ストップ)』が青く点灯している際に『フットコントローラー』を少しずつ踏み込むと、ミシンが動き始めます。
- 5 『フットコントローラー』から足をはなすと、ミシンが止まります。

START(スタート)/STOP(ストップ)
・スピード調節

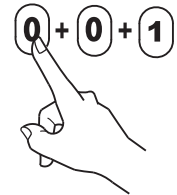


- * 『START(スタート)/STOP(ストップ)』が赤く点灯している際に、ミシンは動きません。
- * 『フットコントローラー』がミシンにつながっている際は、手元の『START(スタート)/STOP(ストップ)』は効きません。
- * ミシン本体の『スピード調節つまみ』で『フットコントローラー』をいっぱいまで踏み込んだ際のスピードを調整出来ます。



8 模様番号ボタン

『トップカバー』に記載されている『模様番号』の数字を3ケタ入力してください。



9 縫い目長さボタン（粗い⇔細かい）

△ ボタン：縫い目の長さを粗く出来ます。

▽ ボタン：縫い目の長さを細かく出来ます。

* 縫い模様によって異なります。

10 針振り幅ボタン（広い⇔狭い）

△ ボタン：縫い目の幅を広く出来ます。

▽ ボタン：縫い目の幅を狭く出来ます。

* 縫い模様によって異なります。

模様の選びかた

模様・文字は操作パネルを操作し、縫い模様を選択します。


1. 模様を縫う

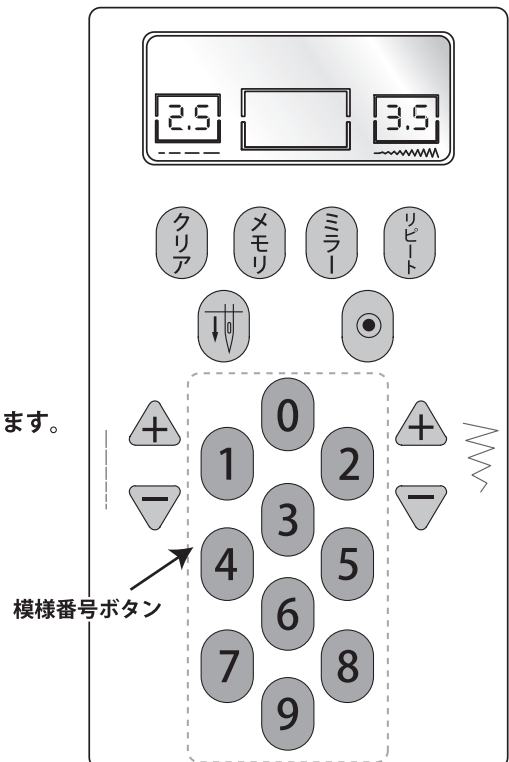
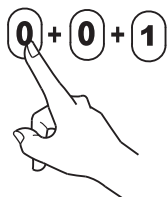
模様番号【001~006】【015~066】を選択した場合はミシンをスタートさせると同じ模様を繰り返し縫い続けます。

1-1：模様番号ボタンで模様を選択する

『模様番号ボタン』【0】～【9】のボタンで縫いたい模様の番号（3ケタ）を選びます。

表示される模様は、『トップカバー』内の表示番号に相当します。

例えば  を選びたい際は 【0】【0】【1】と『模様番号ボタン』を押します。



ボビンの取り出しかた



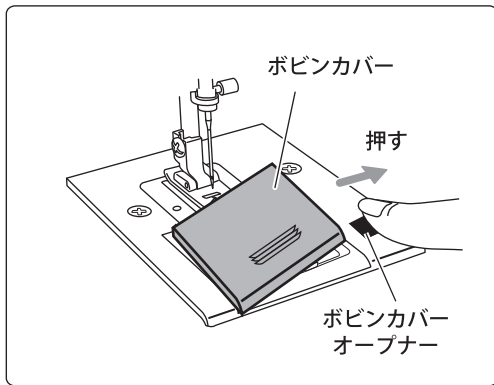
注意



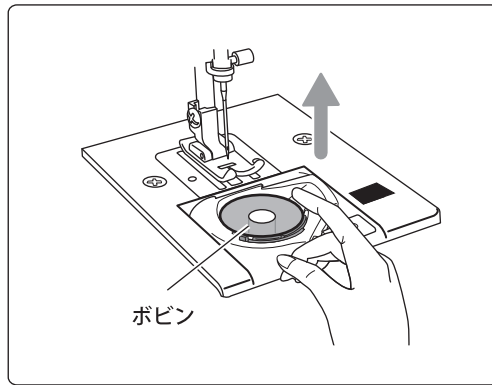
・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとかげをする恐れがあります。



・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



1 『ボビンカバーオープナー』を右へ押すと『ボビンカバー』が外れます。



2 『ボビン』を取り出します。

下糸の巻きかた

*ボビンは家庭用プラスチックボビン(11.5×20.5mm)をご使用ください。
(異なるボビンをご使用されますとミシンの故障の原因につながります。)



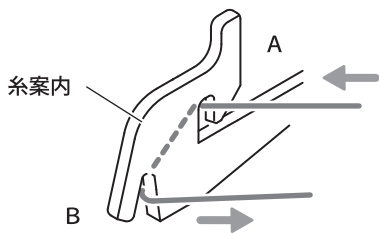
注意



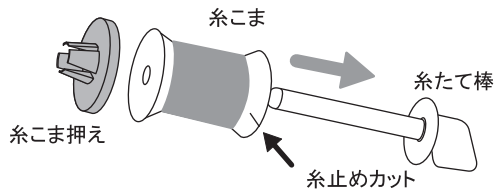
・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとかげをする恐れがあります。



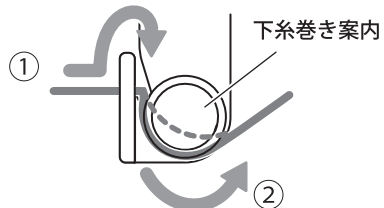
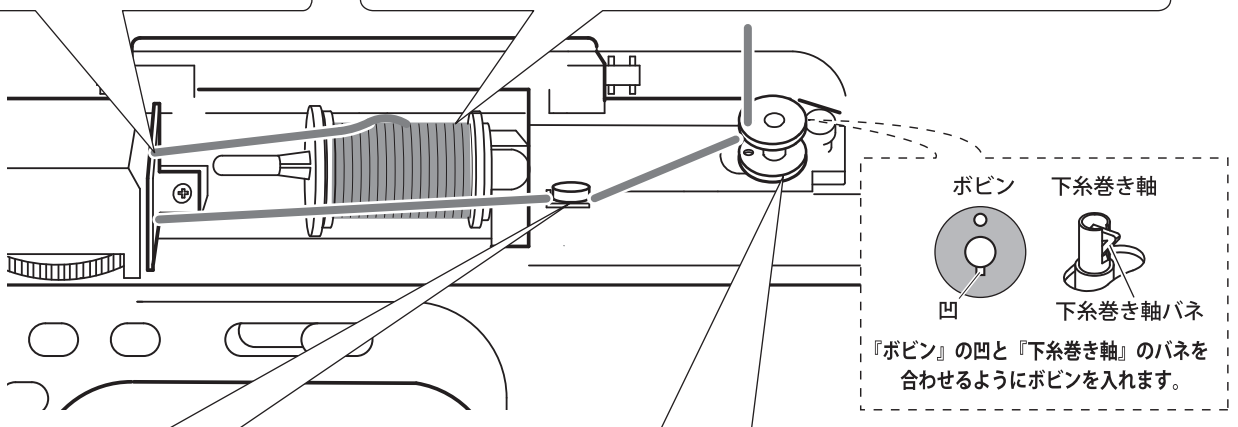
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



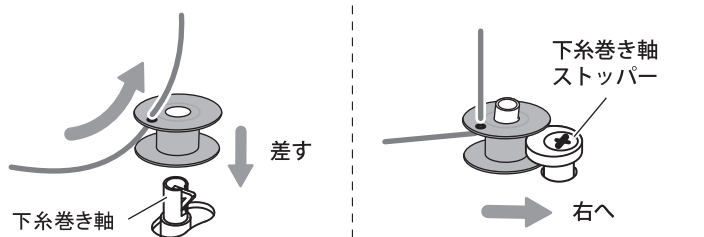
2 『糸案内』に図A、Bの順に糸を掛けます。



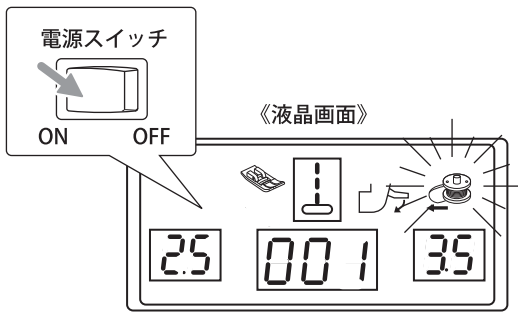
1 『糸たて棒』を少し上へ傾け、『糸こま』の『糸止めカット』を『糸たて棒』の根元側に向け奥まで差し込みます。『糸こま』が飛び出さないように『糸こま押え』でしっかり押えます。
*『糸こま押え』は、『糸こま』の大きさに合った方をご使用ください。



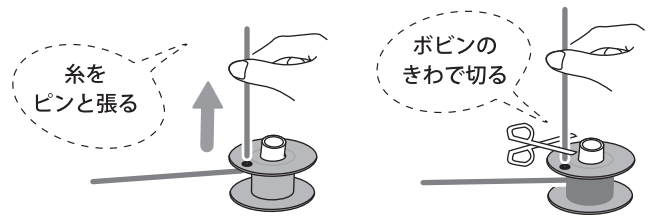
3 『下糸巻き案内』の間にしっかり奥まで糸を掛けます。



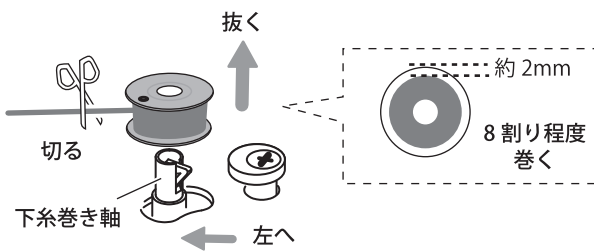
4 『ボビン』の穴に内側から糸を通し、『下糸巻き軸』に『ボビン』を差し『下糸巻き軸』を右に移動させます。



5 『電源コードプラグ』をコンセント（家庭用電源）に差し、『電源スイッチ』を『ON』にします。



6 糸先を持ち、『START(スタート)/STOP(ストップ)』を押し『ボビン』に5.6回転糸を巻き付けます。ミシンを一度止め、持っていた糸を『ボビン』の穴のきわで糸を切ります。



7 再度ミシンを動かし、糸が巻き終わったら『START(スタート)/STOP(ストップ)』を押しミシンを止めます。『下糸巻き軸』を左に戻し、『ボビン』を抜きます。
*『下糸巻き軸』が右にあると、針が上下しません。

*ボビンは家庭用プラスチックボビン(11.5×20.5mm)をご使用ください。(異なるボビンをご使用されますとミシンの故障の原因につながります。)

下糸のセット



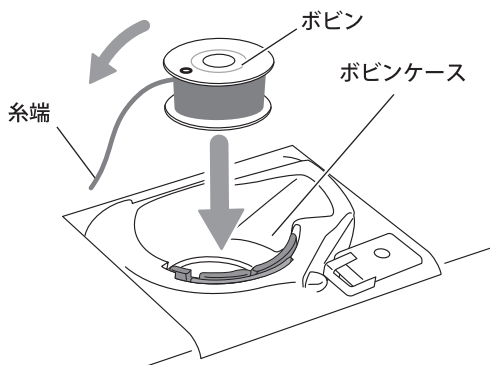
注意



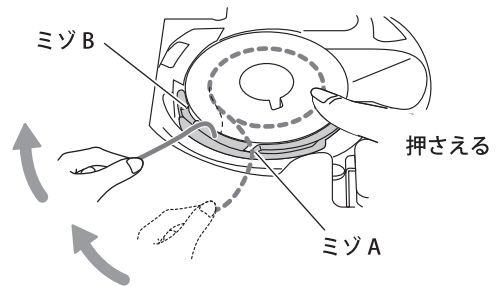
・電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとかげをする恐れがあります。



・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

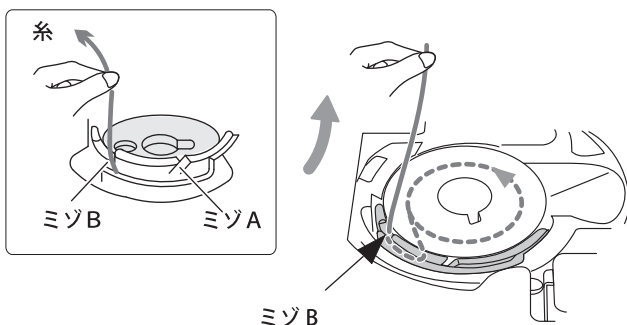


1 『ボビン』から10cmほど糸を引き出し、『ボビン』の左側から糸が出るように『ボビン』を『ボビンケース』に入れます。



2 引き出した『ボビン』の糸を『ミゾA』に掛け、『ミゾB』まで左側へ引き出します。

*『ボビンケース』に糸を掛ける際は、『ボビン』が回転しない様に指で『ボビン』を押さえてください。



3 糸を『ミゾB』に掛け、糸先を向こう側に10cmほど引き出します。



4 『ボビンカバー』の左部分を差し込み『ボビンケース』を閉じます。

上糸の掛けかた



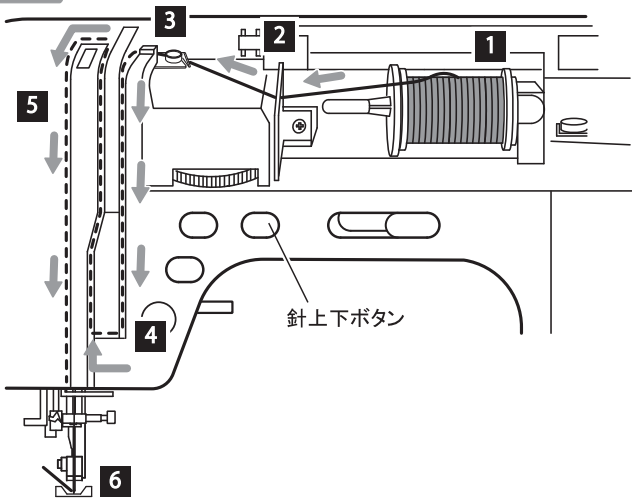
注意



準備

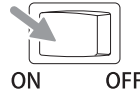
以外は、電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとかげをする恐れがあります。

順序



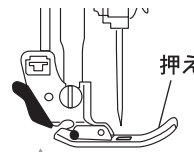
準備

電源スイッチ



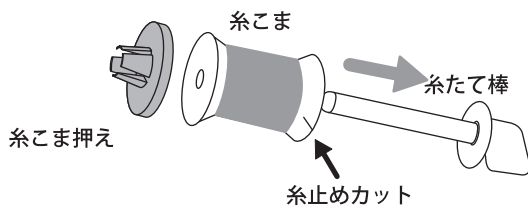
針上下

電源スイッチを『ON』にし、
針上下ボタンで針を上げます。
すぐに、電源スイッチを
『OFF』にします。

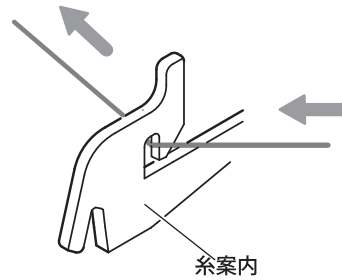


押えを上げます！！

* 押えを下げた状態で
上糸を通すと、糸の調子が
取れません。



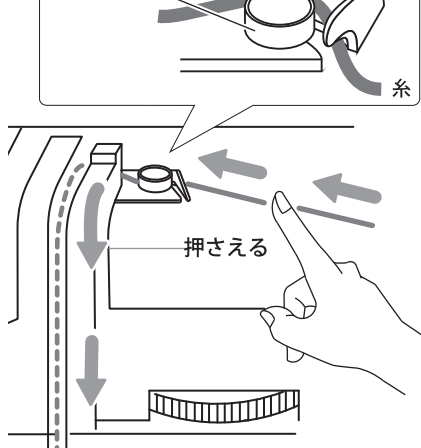
1 『糸立て棒』に糸こま、『糸こま押え』を
セットします。(P13 下糸の巻きかたを参照)



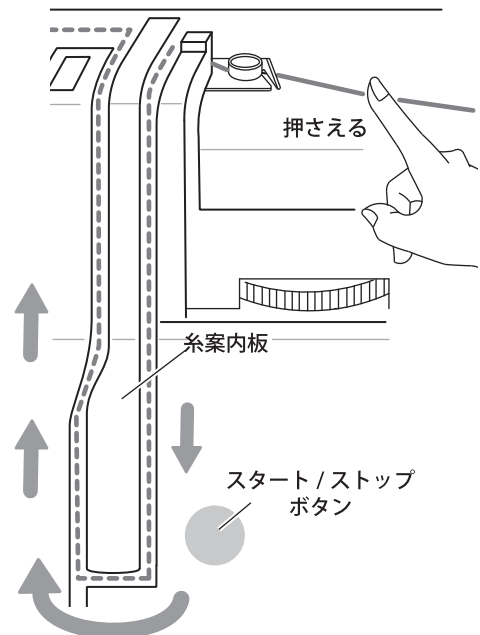
2 『糸案内』に糸を掛けます。

丸い金具(皿)の間にしっかり
奥まで糸を掛けます。

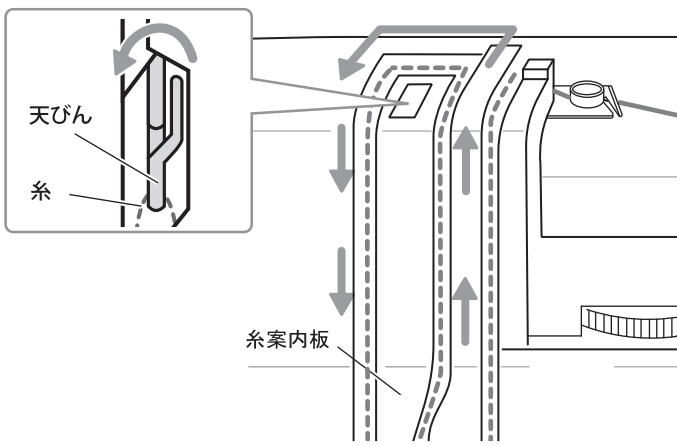
上糸掛け



3 糸を手で軽く押さえ、糸を張った状態で
『上糸掛け』に掛けます。

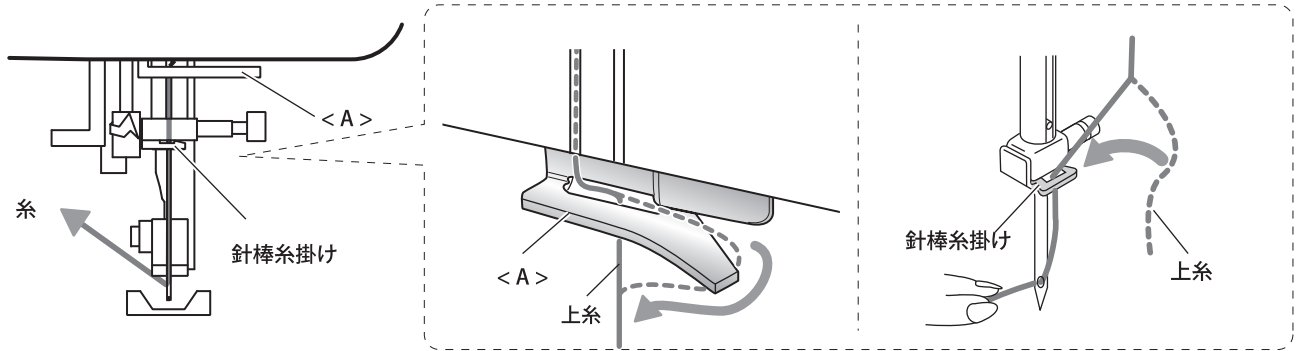


4 糸を押さえたまま、『糸案内板』に沿って
糸を下までおろし、左上へ引き上げます。



5 『糸案内板』に沿って糸を下ろします。そうすると、『天びん』に上糸が通ります。

* 『天びん』が必ず上にある状態で糸掛けをしてください。



6 <A>と『針棒糸掛け』に糸を通します。

針穴糸通し器



注意



・準備

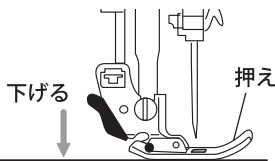
以外は、電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

注意：針穴糸通し器が破損します。



・曲がった針は使用しない。・針の太さを#14より細い針を使用しない。
・糸の太さを#40より太い糸を使用しない。

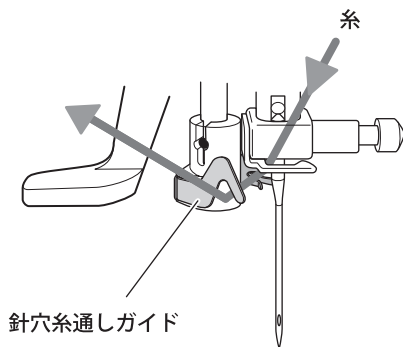
準備



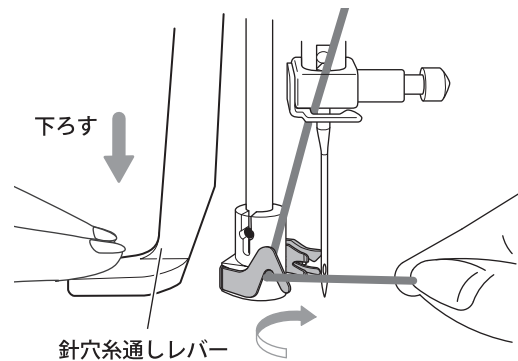
押えを下げます。



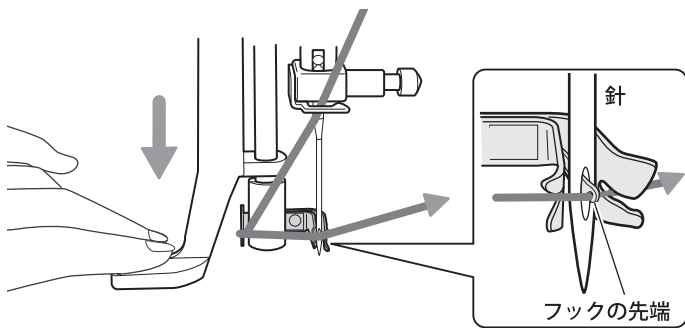
電源スイッチを『ON』にし、針上下ボタンで針を上げます。すぐに、電源スイッチを『OFF』にします。



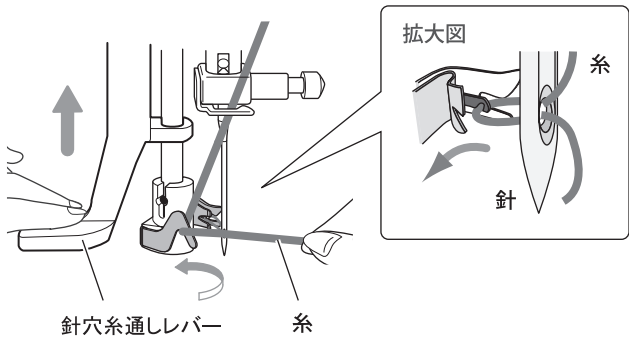
1 糸先を持ち『針穴糸通しガイド』に右下側から糸を掛けます。



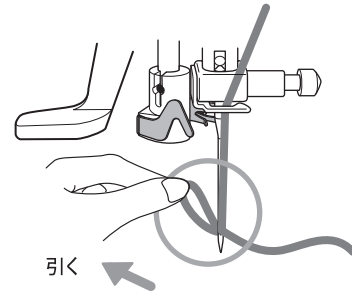
2 糸先を右手で持ったまま、左手で『針穴糸通しレバー』をゆっくり一番下までおろします。(『針穴糸通しレバー』が下がると、『糸通しフック』が回転し『針穴へフック先端』が通ります。)



- 3** ガイドに掛けた糸をそのままミシン右奥へ引っ張ります。
 (『フックの先端』に糸が掛かります。)
 再度手前に糸を持って来ます。
 (この際、少し上気味に糸を持ちます。)



- 4** 糸先を軽く持ちながら、『針穴糸通しレバー』をゆっくりはなします。



- 5** 針の後ろに糸の輪が出来るので針の後ろへ10cmほど引き抜きます。
 * 右手の糸を引っばると輪がほどけます。

下糸の引き上げかた



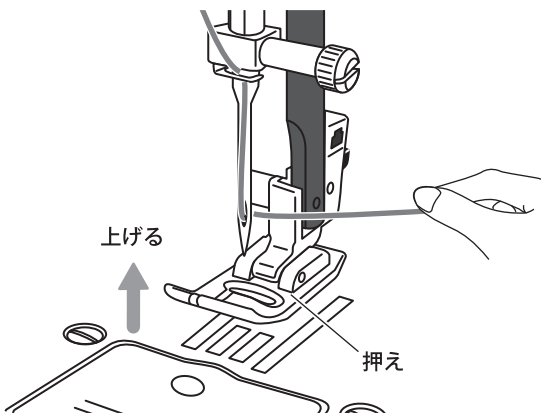
注意



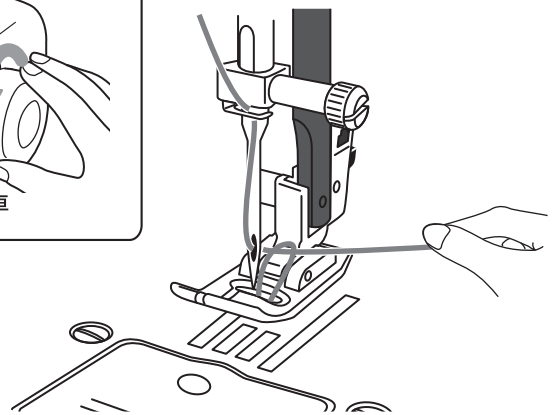
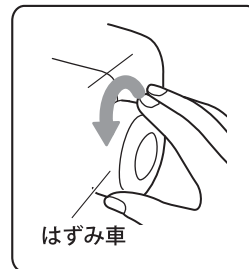
・電源スイッチを『OFF』にする。
 突然動くケガをする恐れがあります。



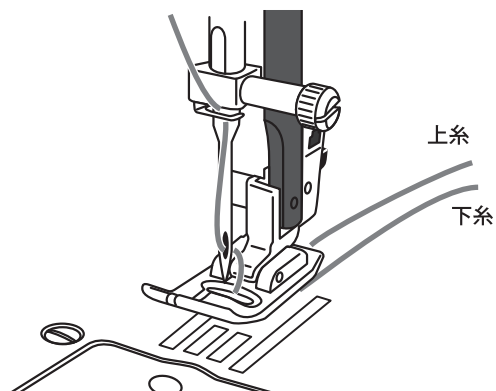
・針先に注意する。
 ケガをする恐れがあります。



- 1** 『押え』を上げ、上糸の端を持ちます。



- 2** 『はずみ車』を手前に1回転させ針を上げると、下糸の輪が引き出されます。上糸の端を引き下糸の輪をつまみ、下糸を引き上げます。

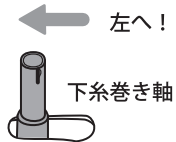


- 3** 上糸と下糸をそろえ、『押え』の下へ10cmほど引き出します。

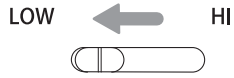
直線縫い

準備

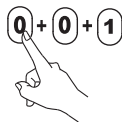
- 下糸巻き軸を左側にします。
(軸が右にあると針が動きません)



- スピード調節つまみを
【LOW】にします。



- 電源を入れ、縫い模様を
選択します。



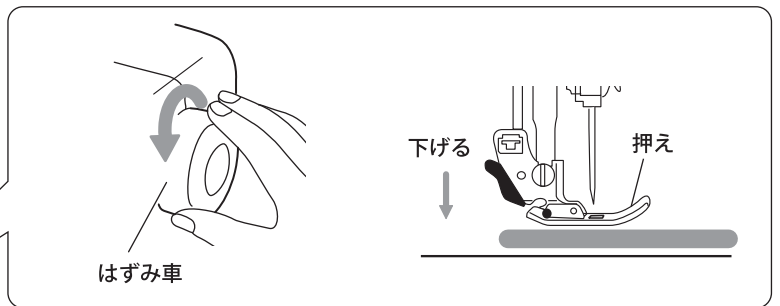
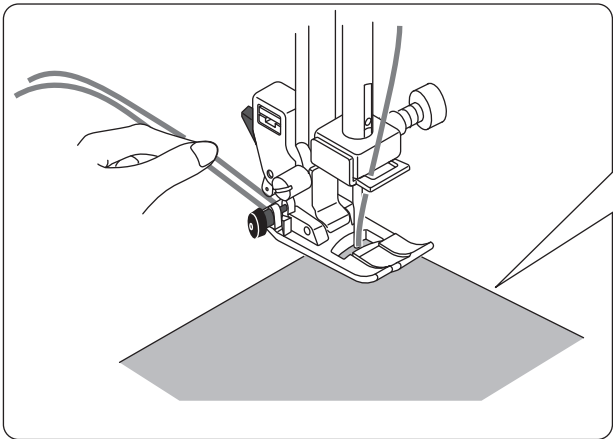
注意

- 針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。
- 模様選択の際は針を上げる。
針が折れケガをする恐れがあります。

押え	模様表示	
	001 ┆ 中基線	002 ┆ 左基線
ジグザグ押え		

押え	模様表示
	001 ┆ 中基線
直線押え	

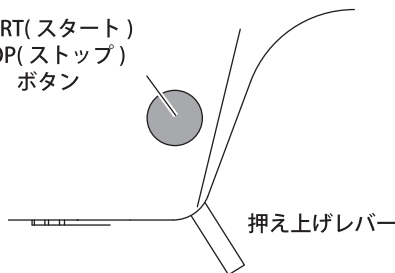
* 直線押えは【001】以外では使用出来ません。



- 1** 生地を『押え』の下に置き、『はずみ車』を手前に回して縫い始める位置に針を刺します。
- 2** 『押え』を下げます。
- 3** 『START(スタート)/STOP(ストップ)』を押し、縫い始めます。
- 4** 生地に手を軽くそえ、生地の進む方向を修正・補助します。
- 5** 『START(スタート)/STOP(ストップ)』を押し、ミシンを止めます。

< ミシン正面図 >

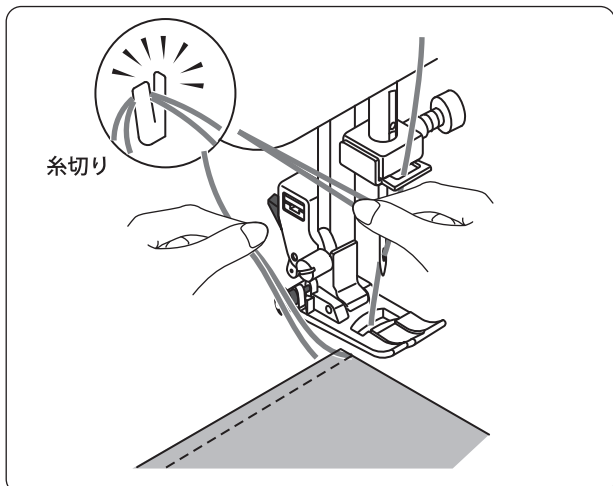
START(スタート)
STOP(ストップ)
ボタン



- 6** 『押え上げレバー』を上げ、生地を引き出します。その後、『糸切り』にて糸を切ります。

* 縫い始めと縫い終わりに『返し縫いボタン』または『止め縫いボタン』を押すと、ほつれ止めになります。(P19 参照)

* 薄地や送りの悪い生地を縫う際は、ハترون紙などの紙を生地の下に敷くとスムーズに縫うことができます。



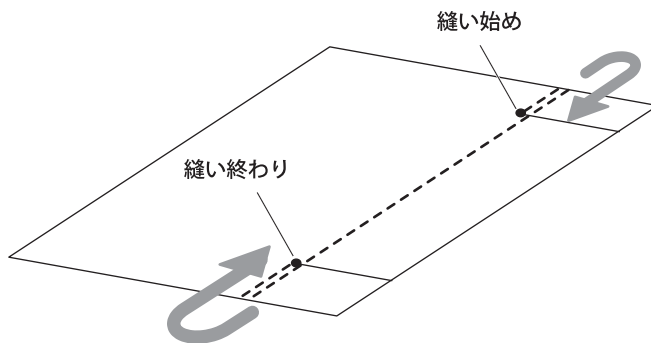
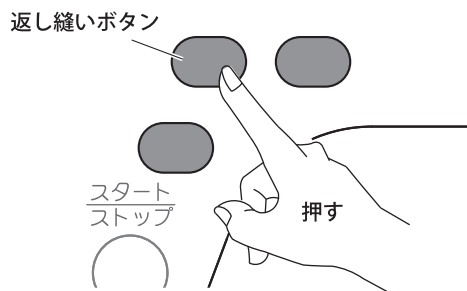
返し縫い



注意



・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



ミシンが動いているときに、『返し縫いボタン』を押している間は返し縫いになり、『返し縫いボタン』から手をはなすとミシンは止まります。

* 縫い始めと縫い終わりに返し縫いを行うとほつれ止めになります。

生地端ギリギリから返し縫をすると、生地が食い込んでしまう場合もあるから気を付けてね。

食い込み注意!



針、糸、生地の関係

きれいに縫うためには、生地に合った針と糸をご使用ください。(下記参照)

上糸と下糸は同じ種類・同じ太さの糸をご使用ください。

針は家庭用ミシン針 (HA×1)、糸は家庭用ミシン糸とご指定の上お買い求めください。

(工場出荷時、ミシンには 14 番の針が設置されています。)

* 下記の表はあくまで参考ですので、必ず試し縫いを行い縫い目をご確認ください。

	生地の種類	針の種類・番号	糸の種類・番号
薄地	一般裏地、ローン、ジョーゼット、レース、キュプラなど	9、11 番	綿 60～100 絹 50～90 化繊糸 60～90
普通地	一般服地、ブロード、ソフトデニム、サテン、パイル、ギンガムなど	11、14 番	綿 60～90 絹 50～90 化繊糸 60～90
厚地	キルティング、フリース、ツイード、デニム、フェルトなど	14、16 番	綿 40～50 絹 50 化繊糸 50～60
伸縮地	ニット、トリコット、スパンテックス、ジャージなど	ニット用針 11、14 番	綿 60 化繊糸 50～90 ニット用糸 50～90

* 針は数字が大きくなるほど太くなります。

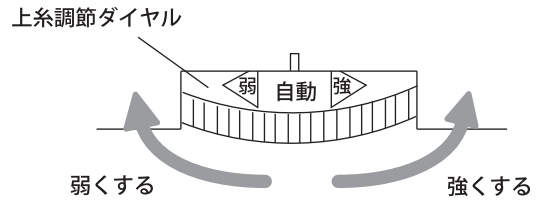
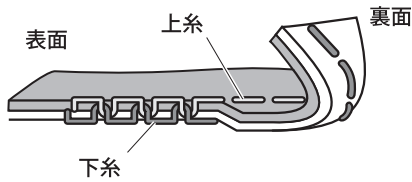
* 糸は数字が大きくなるほど細くなります。

(針の交換方法は P39 をご参照ください。)

糸調子の合わせかた

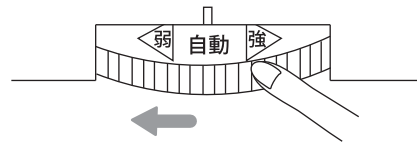
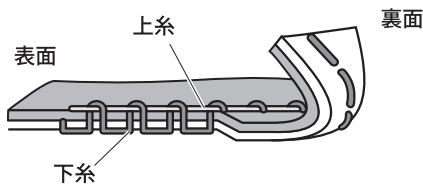
糸調子が合わない場合は、上糸調節ダイヤルを回し調節してください。

● 正しい糸調子



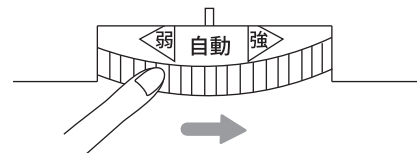
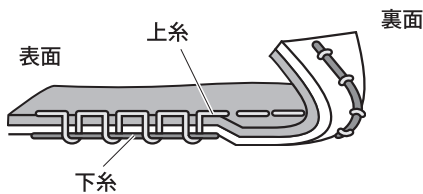
上糸と下糸が生地のほぼ中央で交わります。

● 上糸が強いとき



下糸が生地の表に出ます。
『上糸調節ダイヤル』を『弱』の方向へ回します。

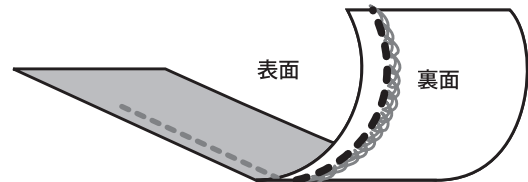
● 上糸が弱いとき



上糸が生地の裏に出ます。
『上糸調節ダイヤル』を『強』の方向へ回します。

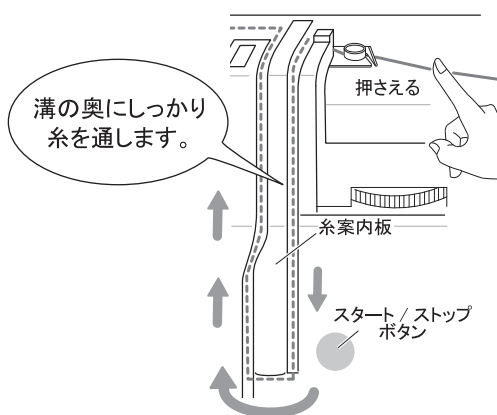
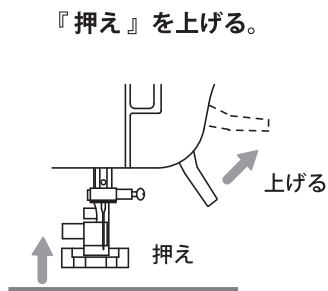
● 生地裏側の糸がタオル地のようなときは…

- 上糸調子が弱い。
- 『押え上げレバー』が上がっている。
- 『天びん』から上糸が外れている。
- 上糸の掛けかたが間違っている。
- 糸が太すぎる。(太さ #40 までの仕様です。)
- 針に不具合が生じてる。



ポイント!

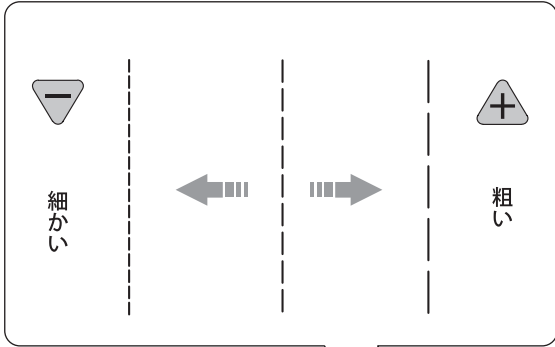
『押え』を上げミシンから上糸を全て外し、上糸を再度正しく掛け直してください (P15 ~ P17 参照)



縫い目の長さを変える

縫い目長さボタン（細かい⇄粗い）

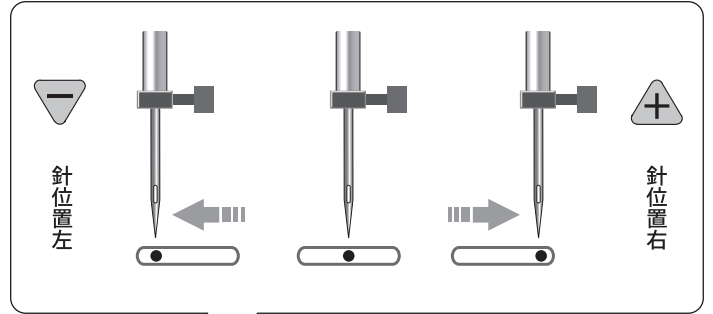
- △ ボタン：縫い目の長さを粗く出来ます。
- ▽ ボタン：縫い目の長さを細かく出来ます。
- * 縫い模様によって異なります。



針の位置を変える

針振り幅ボタン

- △ ボタン：数値が大きくなり、針位置が右に移動します。
- ▽ ボタン：数値が小さくなり、針位置が左に移動します。
- * 縫い模様によって異なります。



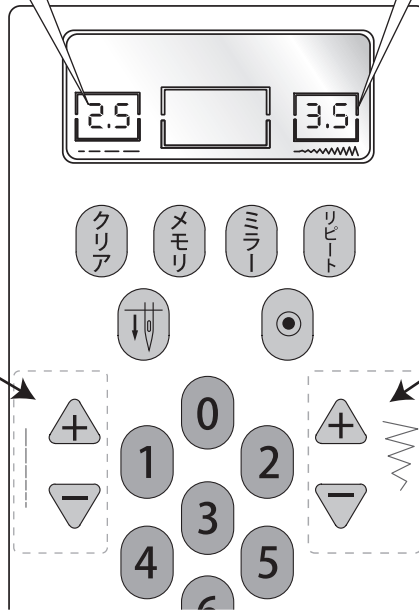
直線で針位置が変更できる模様



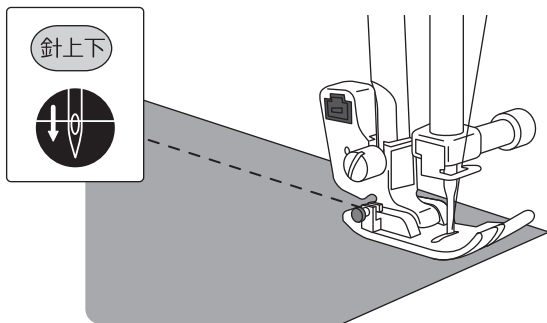
* 直線押えは使用出来ません。

縫い目長さボタン

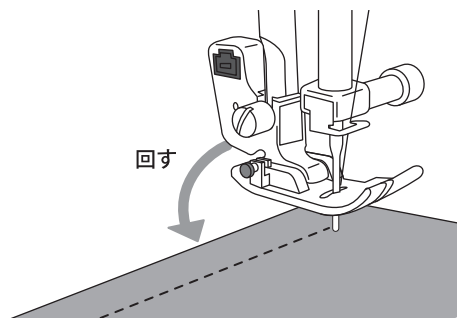
針振り幅ボタン



縫い方向を変える



- 1 生地 corner まで縫い、ミシンを停止し『針上下ボタン』で針を下げます。

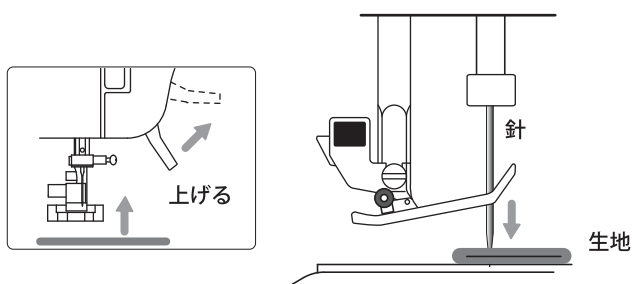


- 2 『押え』を上げ、針を軸にして生地を回させ縫い方向を変えます。再び、『押え』を下げ縫い始めます。

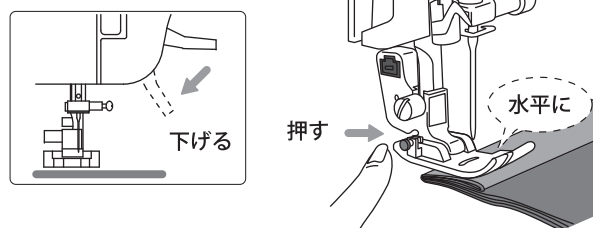
厚地を縫う

縫い始めや段差を縫う際

厚地は粗い縫い目のほうが縫いやすいよ。



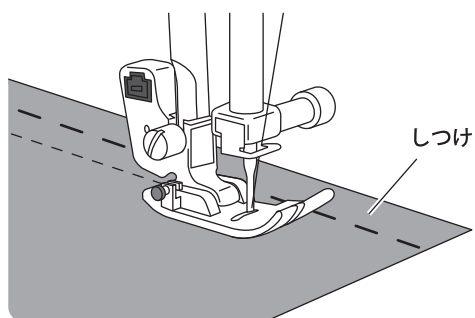
- 1 『押え上げレバー』を上げます。『押え』の下に生地を置き、針を一番下まで下げます。







- 2 『押え』の先端を指でつまみ『押え』を水平にします。水平を保ったまま、『押え』の左横にある『ボタン』を押しながら『押え上げレバー』を下ろします。

* 厚地を縫う際は、市販の家庭用ミシン針：16番をご使用されることをおすすめします。

伸縮生地を縫う



押え	模様表示		
	004	005	017
ジグザグ押え			

- 1 『模様選択ボタン』で模様を選択します。
- 2 あらかじめ縫い合わせる生地がずれないようにしつけをし、生地を引っ張らないように縫います。

* 縫い目が飛ぶ際は、市販の家庭用ニット用針とニット用糸をご使用ください。

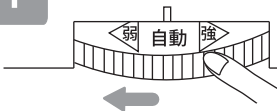


注意



- ・針先に注意する。ケガをする恐れがあります。
- ・模様選択の際は針を上げる。針が折れケガをする恐れがあります。
- ・縁かがり押えを使用するときは、縫い目の幅を『4.5』以上にする。
(部品の破損にもつながります。)
- ・押えの交換時は電源スイッチを『OFF』にしてください。

ポイント



直線縫いよりも上糸調整ダイヤルをやや弱めにするときれいに縫えます。

注意

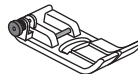
015



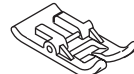
028



ジグザグ押え



スムーズ押え



縁かがり押え



これらの模様は縁かがり押えは使用出来ません。
ジグザグ押えまたはスムーズ押えをご使用ください。

生地の厚さと各種の設定

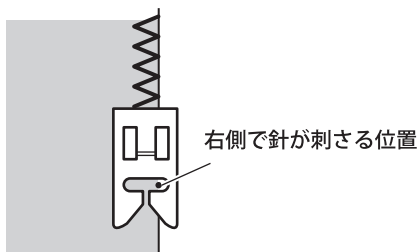
	薄地	普通地		厚地		伸縮地
模様	015 	006 	018 	018 	019 	028
縫い目長さ	0.6 ~ 2.0	2.5 ~ 3.0		2.5 ~ 3.0		2.5 ~ 3.5
針振り幅	3.0 ~ 5.0	3.0 ~ 5.0	4.5 ~ 7.0	4.5 ~ 7.0		3.5 ~ 7.0
押え	 ジグザグ押え	 ジグザグ押え	 縁かがり押え	 ジグザグ押え	 縁かがり押え	 スムーズ押え
押え圧力	1 ~ 2	2 ~ 3	2 ~ 3	2 ~ 3	2 ~ 3	1 ~ 2

● 縫いかた

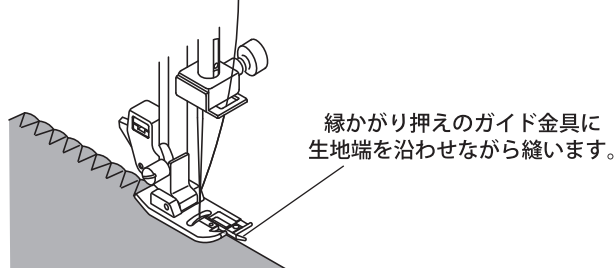
上図のいずれかの縫い模様を選びます。

『はずみ車』を手前に回して針が右に来た際に、生地端より針が少し外れるように生地を置き、『押え上げレバー』を下げます。

【ジグザグ押え・スムーズ押え使用時】



【縁かがり押え使用時】



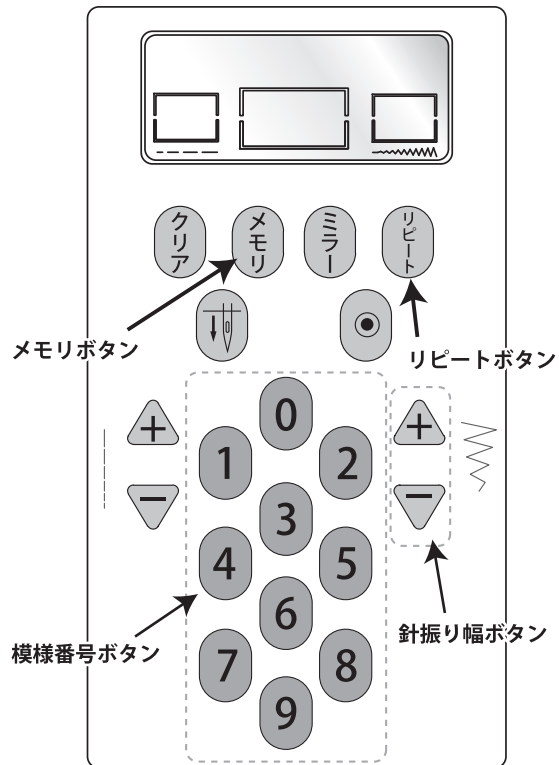
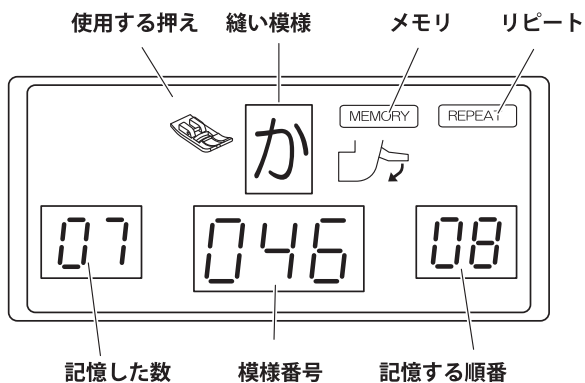
文字縫い・絵柄縫い・飾り縫い

1. 文字 (模様 111 ~ 272) や絵柄 (模様 067 ~ 110)、飾り模様 (023 ~ 066) を縫う

1-1 : 文字や絵柄を縫う【一点縫い : 模様番号 067 ~ 272】

- ・『模様番号ボタン』で縫いたい文字や絵柄の番号 (3ケタ) を選びます。
- ・ミシンをスタートさせると液晶画面に表示されている文字や絵柄を1つだけ縫い、止め縫いをして止まります。

《液晶画面》

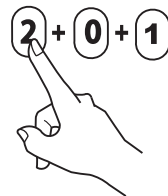


1-2 : 連続して文字や絵柄を縫う【リピート縫い : 模様番号 067 ~ 272】

- ・『リピートボタン』を押すとボタンが点灯し液晶画面に <REPEAT> が点灯します。
- ・『模様番号ボタン』で選んだ模様を連続して縫います。
- ・縫っている際にもう一度『リピートボタン』を押すと液晶画面の <REPEAT> とボタンが消灯し文字や絵柄を完成させてから止め縫いをして止まります。

1-3 : 複数の模様を選択する【記憶縫い : 模様番号 023 ~ 272】

- ・『メモリボタン』を押すとボタンが点灯し液晶画面に <MEMORRY> が点灯します。
- ・記憶したい模様の番号を3ケタずつ押します。
- ・次に記憶したい模様の番号を3ケタ押します。
- ・『リピートボタン』を使うと記憶した模様を連続して縫えます。
- ・記憶縫いの際は振り幅と送り長さは変更できません。



例えば…『りんご』と記憶する場合

メモリボタン→り (220) →ん (226) →ご (231) →START (スタート) / STOP (ストップ) で縫い始めます。



(刺しゅうが終わると、ミシンは自動で止まります。一旦途中で止めると、途中止めた時点からの刺しゅうになります。)

* 60 個まで記憶出来ます。

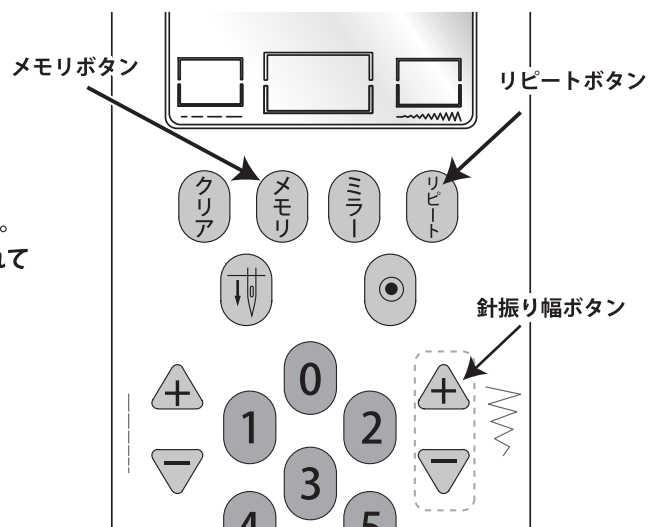
2. 記憶した模様の確認

メモリの模様の記憶入力が終わったら、縫う前に確認します。

入力済みの模様は画面左下に示されます。

- 針振り幅の  ボタンを1度押すごとに1文字前の記憶模様に戻ります。
- 針振り幅の  ボタンを1度押すごとに記憶模様が進みます。

注意：操作パネルのメモリボタンは記憶操作中に押さないでください。記憶した模様が全て消去されます。また、電源スイッチを『OFF』にすると、記憶されている模様は全て消去されます。



3. 文字縫い・絵柄縫い・飾り縫いの縫いかた



注意



・押え交換時は電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くケガをする恐れがあります。

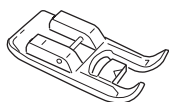


・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

3-1：伸びる生地や薄地、織りの粗い生地には接着芯を貼ります。

* 接着芯を貼りたくない際はハترون紙などの薄紙を生地の下に敷き一緒に縫ってください。

3-2：押えを交換します。

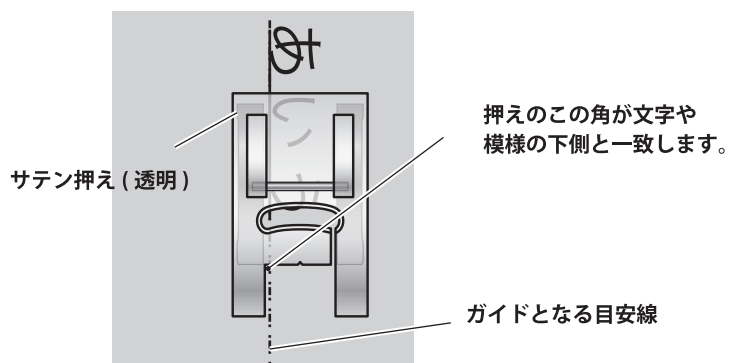


サテン押え（透明）を使用します。

* サテン押え（透明）以外では模様がきれいに縫えません。

3-3：生地には軽く手をそえて縫います。

- 縫う際には生地を強く引っ張ったり押えたりすると、模様がきれいに縫えません。
- 模様によっては生地が前後に動いたり、生地がまっすぐに送られないことがあります。生地にはガイドとなる目安の線を引くなどをし、まっすぐに生地を送るように軽く手をそえて縫ってください。

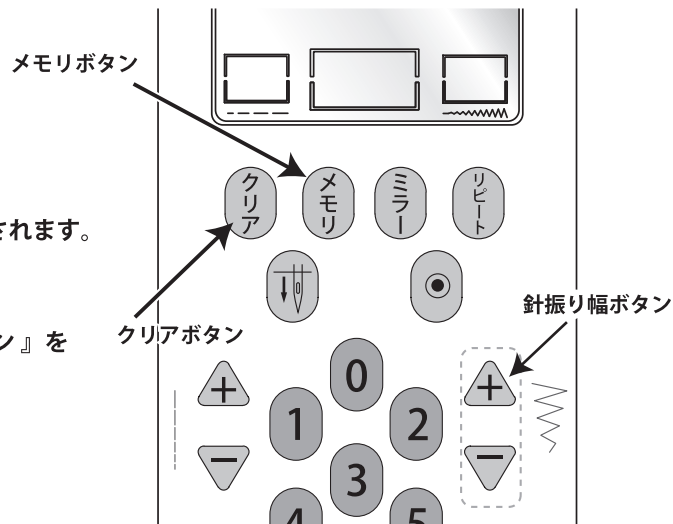


4. 記憶模様の消去

一括消去：記憶されていた模様を全て消去する際は、点灯している『メモリボタン』を押します。

* 注意：記憶操作中に『メモリボタン』を押すと、一括消去されます。

部分消去：針振り幅ボタンで消したい模様を選択し、『クリアボタン』を押します。



スモッキング



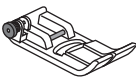

注意

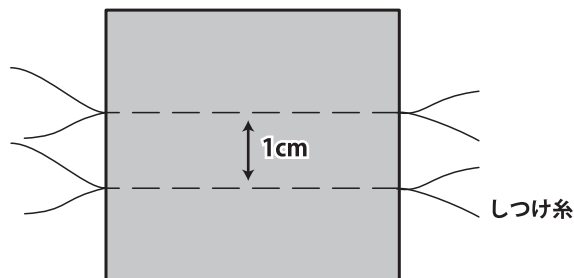


・押え交換時は電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。



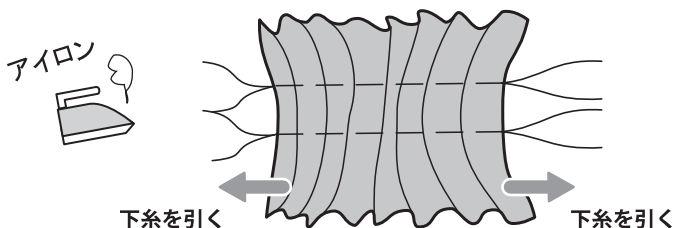
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

押え	縫い目長さ	模様表示
 ジグザグ押え	5.0	001  中基線



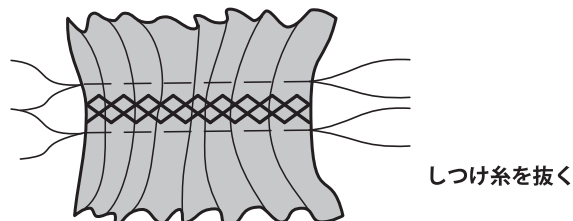
1 スモッキングの模様を入れる両脇にしつけを1cmの間隔で直線縫いをします。

*糸調子は弱くする。



2 しつけ糸の下糸を引いてギャザーを寄せアイロンで整えます。

押え	模様表示
 サテン押え	027 048 



3 『サテン押え』に交換し、しつけ糸の間にスモッキングの模様を縫い、しつけ糸を外します。

スムーズ押え：伸縮生地を縫う

すべりにくい生地などに効果的な押えです。
(押えの交換方法 P7 参照)



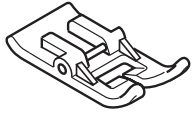
注意



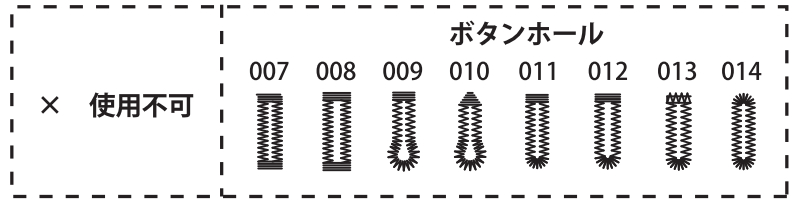
・押え交換時は電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くケガをする恐れがあります。



・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



例えば…
ビニールコーティング、ニット、
トリコット、ウール など



* スムーズ押えはボタンホール縫いは使用できません。

パッチワーク

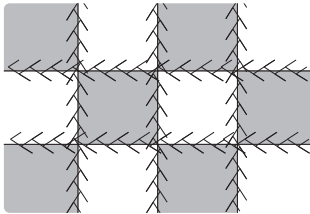
色々な生地をつなぎ合わせ、装飾に用います。

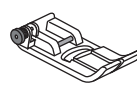




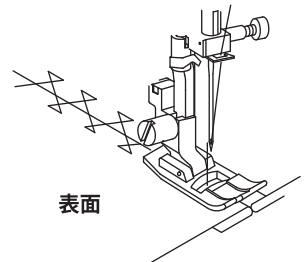
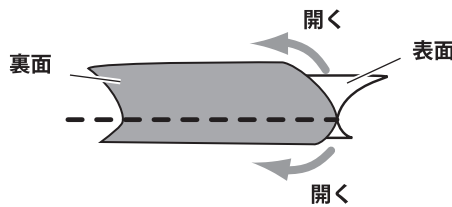
注意



・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



押え	模様表示		
 ジグザグ押え	023 	027 	048 



1 2枚の生地を中表にし、直線縫いで縫い合わせます。

2 縫い合わせを開きます。

3 両方の生地に模様がまたがるように縫います。

アップリケ

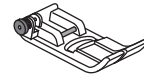

市販や自作のアップリケ布を別生地の上に縫い付けます。

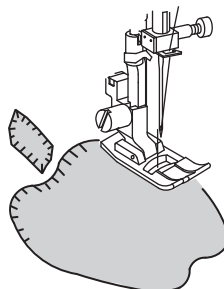
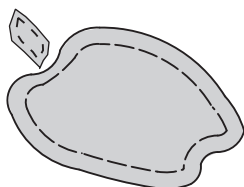


注意



・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

押え	模様表示
 ジグザグ押え	029 



* 縫い方向を変える際は、アップリケ布の外側に針を刺し、押えを上げ生地全体を回します。

1 アップリケ布を生地にしつけるか、布用ボンドで仮止めします。

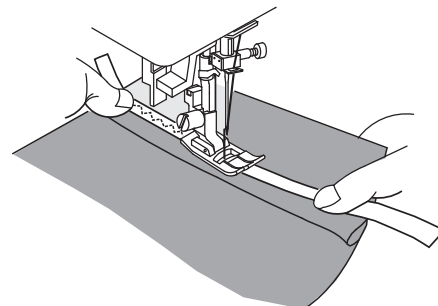
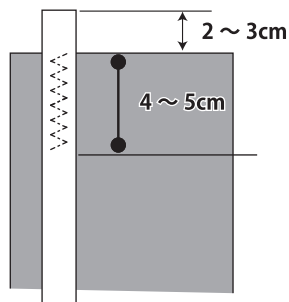
2 アップリケ布の回りを縫い付けます。

ゴムテープ付け

袖口などのゴム付けをきれいに縫えます。

	注意		<p>・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。</p>
--	-----------	--	------------------------------------

押え	模様表示
<p>ジグザグ押え</p>	<p>015</p>



- 1 ゴムテープは用途の長さより4~6cm長めに切ります。
- 2 生地に対しゴムテープを2~3cmはみ出し、4~5cm縫いミシンを止めます。
(この間、ゴムは伸ばさないでください。)
- 3 縫い終わり側のゴムテープ端を伸ばして、生地と一緒に押えながら縫います。

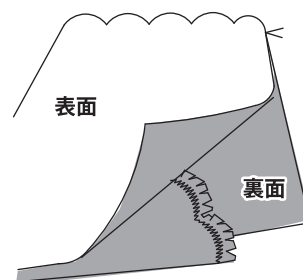
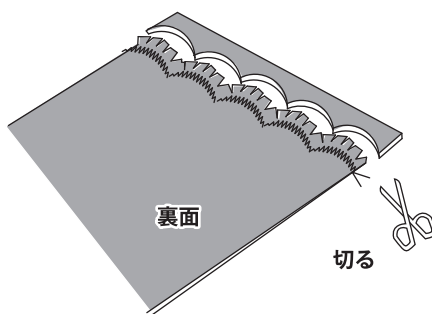
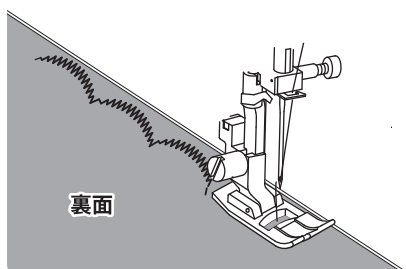
* 目飛びをする際は針をニット用の針に交換してください。

スカラップ

子供服やテーブルクロスなどの生地端を装飾する際に用います。

	注意		<p>・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。</p>
--	-----------	--	------------------------------------

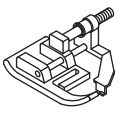

押え	模様表示
<p>ジグザグ押え</p>	<p>063</p>




- 1 2枚の生地を中表に合わせ、生地端に沿って縫い合わせます。
- 2 縫い目から3mmのところを輪郭に沿って生地端を切ります。
* 切り落とした後の縫いしろに、細かく切り込みを入れておきます。
- 3 生地を内側へ返し輪郭を整えます。


まつり縫い（ブラインドステッチ）

スカートやズボンの裾上げをする際に用います。
生地表面に目立たない縫い目です。

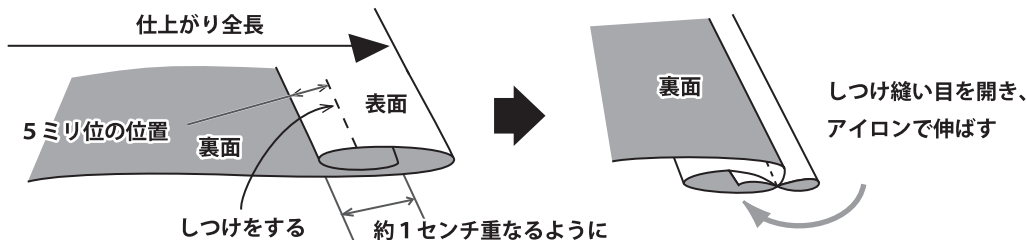
押え	模様表示
	021
まつり縫い押え	



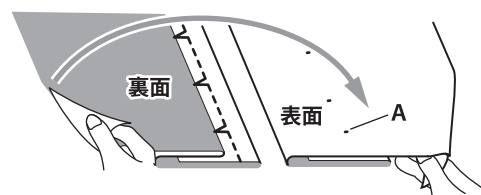
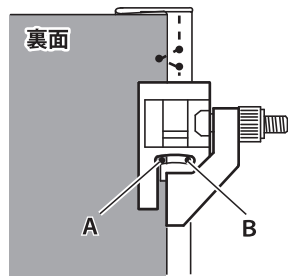
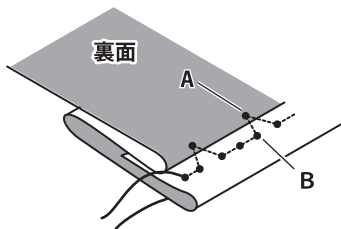
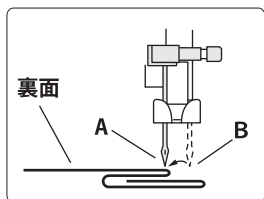
注意



- 押え交換時は電源スイッチを『OFF』にする。突然動くとかげをする恐れがあります。
- 針先に注意する。ケガをする恐れがあります。



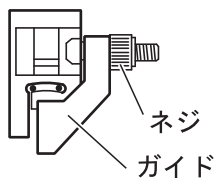
1 生地を図のように折り、しつけをします。



3 生地を返し、しつけ糸を抜きます。

2 『はずみ車』を手前に回し針を左側でゆっくり下げ、生地折り山(A)にわずかに針がかかるよう、生地位置を合わせて縫います。
(針がかかる量が少ないほど、表面に目立ちにくくなります。また、生地折り山に針が掛からないと仕上がりが目飛びをします。)



まつり縫い押え



『まつり縫い押え』の『ガイド部分』が生地の折山に来るように、『ネジ』を回しガイドの位置を調節します。

ギャザー押え

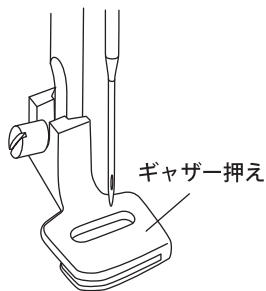
簡単にギャザーを寄せることができます。

押え	模様表示
 ギャザー押え	001  中基線

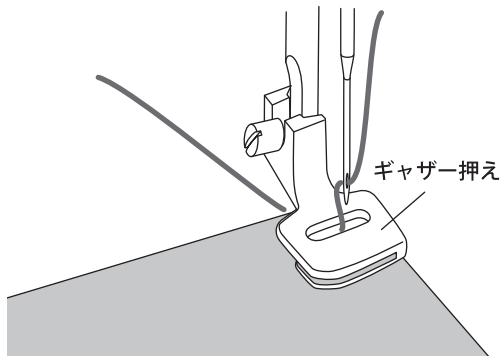
注意



- ギャザー押え使用時は返し縫いが出来ない。
- ギャザー押えを使用する際は、中基線の直線縫い模様【001】以外は使用不可。
(中基線の直線縫い以外を使用すると、針が折れ危険です。)
- ギャザー押えが上がった状態で針を下げると、ギャザー押えに接触することがある。
- ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針が押えに当たらないことを確認する。ケガをする恐れがあります。
- 押え交換時は電源スイッチを『OFF』にする。
- 針先に注意する。ケガをする恐れがあります。



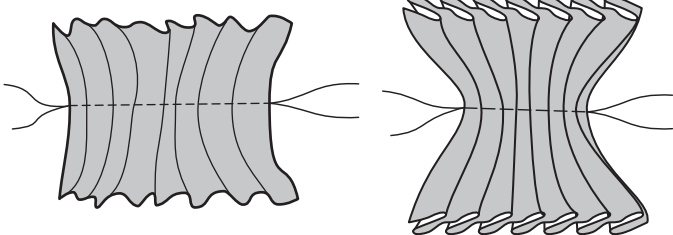
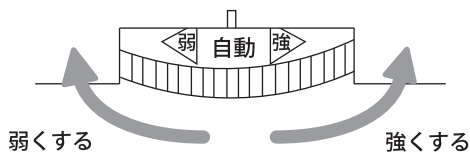
- 1 『押えホルダー』を外し(P8 参照) 『ギャザー押え』を取り付けます。



- 2 『ギャザー押え』の穴に上糸を上から通し、生地を押えの下に置き、『ギャザー押え』を下げ縫います。

糸調子によってギャザーの寄りかたが変わります。

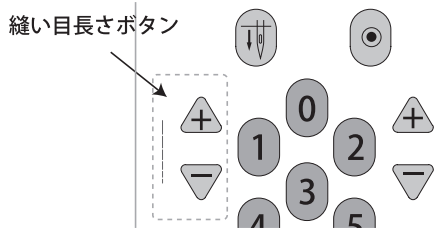
< 上糸調節ダイヤル >



ギャザーの寄りかた

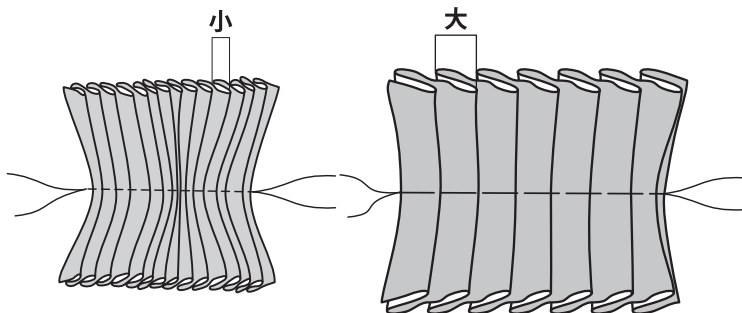
縫い目長さによってヒダの大きさが変わります。

< 操作パネル >



縫い目を細かくする

縫い目を粗くする



ヒダの大きさ

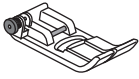


ピンタック

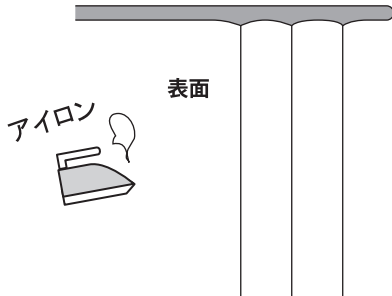
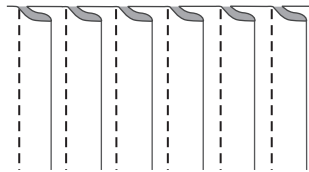


注意

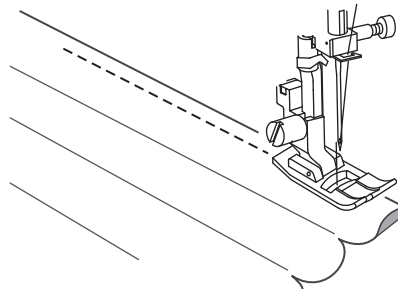


・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

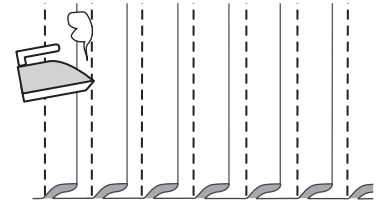
押え	模様表示
 ジグザグ押え	001 002   中基線 左基線



1 アイロンでピンタックの折山を整えます。



2 折山を伸ばさないようにピンタックを縫います。



3 アイロンで片側に倒します。

シェルタック

ブラウスなどの装飾に用います。
ジョーゼットなどやわらかい生地にオススメです。



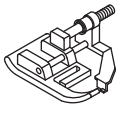

注意

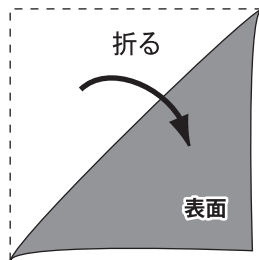


・押え交換時は電源スイッチを『OFF』にする。
突然動くケガをする恐れがあります。



・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

押え	模様表示
 まつり縫い押え	020 

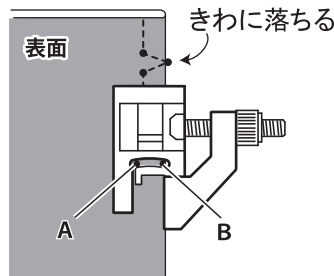
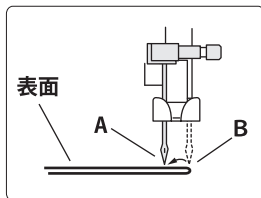


1 生地をバイヤスに2つ折りします。

* バイヤス: 斜めという意味。
生地の縦地や横の布目に対して
45° に折ったり裁断したもの。

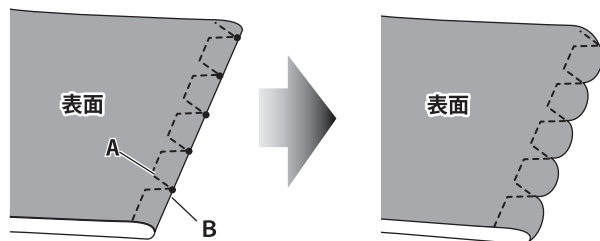


* ミラーボタンを押し、模様を反転させます。



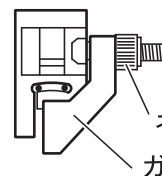
2 右側が生地の【わ】になるように『押え』の下にセットし『はずみ車』を手前に回し針をゆっくり下げます。
右の針落ちが生地の折り山のきわ(生地の外側)に落ちるように縫います。

糸調子を少し強めにセットすると生地が左側に引き寄せられ、貝がらのようになります。



シェルタック完成

まつり縫い押え



『まつり縫い押え』の『ガイド部分』が生地の折山に来るように、『ネジ』を回しガイドの位置を調節します。

直線縫いガイド

直線縫いガイドを使用すると、縫い目の目安になります。



注意

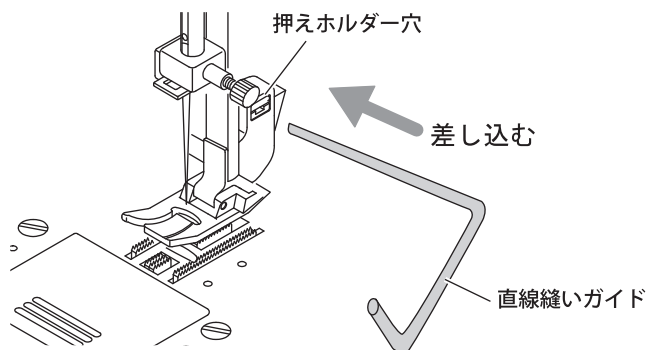


・直線縫いガイド挿入時は電源スイッチを『OFF』にする。

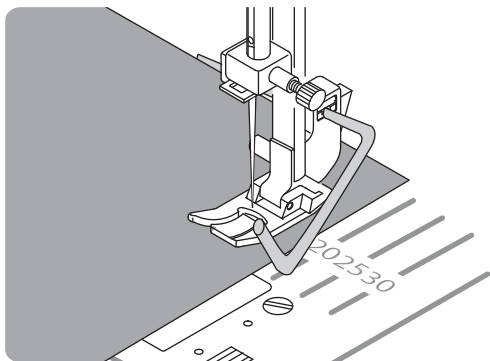
突然動くケガをする恐れがあります。



・針先に注意する。ケガをする恐れがあります。

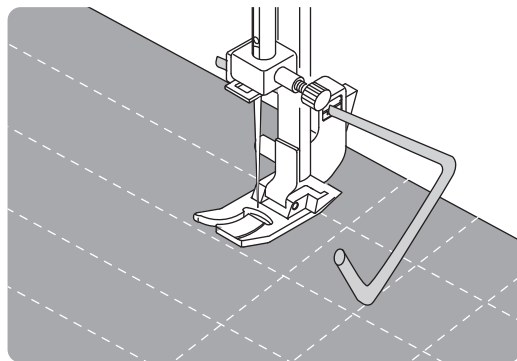


『押えホルダー穴』に『直線縫いガイド』を差しこみます。
(『押えホルダー』の右から差し込みます。)



● 端縫い

針板の数字を目安に『直線縫いガイド』の位置を定め縫いしろの端と『直線縫いガイド』が合うように縫います。



● キルティング

縫い終わった縫い目と『直線縫いガイド』が合うように縫います。

ガイド押え

ガイド押えを使用すると、トップステッチや落としミシンなどの折山のきわをきれいに縫うことができます。



注意



・押え交換時は電源スイッチを『OFF』にする。突然動くケガをする恐れがあります。

・針先に注意する。ケガをする恐れがあります。



・一部使用の出来ない縫い模様もありますので、必ず試し縫いを行ってください。

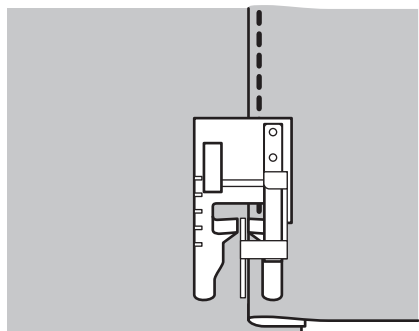
・ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針が押えに当たらないことを確認してください。

押え	縫い目長さ	模様表示	針振り幅
 ガイド押え	1.0 ~ 5.0	002 左基線	0.0 ~ 7.0

006 015 020 022

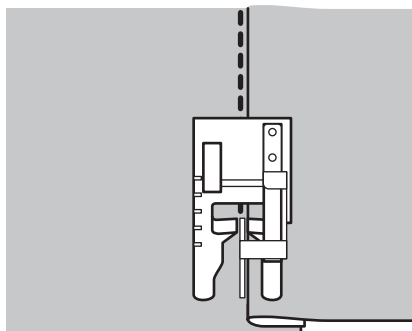


*ガイド押えはその他のジグザグ縫いにも使えます。



● トップステッチ

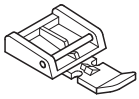
ガイドを折山のきわに当て、左基線模様【002】を選択し、好みのステッチ位置に針位置を調節します。



● 落としミシン

ガイドを折山のきわに当て、左基線模様【002】を選択し折山のきわに針が落ちるように針位置を調節します

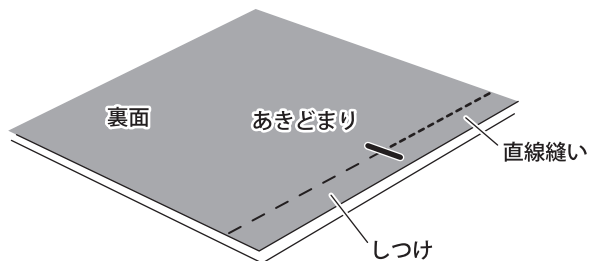
ファスナー付け < 突き合わせ >

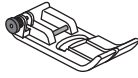
押え	模様表示
	001 — └─┘ 中基線
ファスナー付け押え	

注意

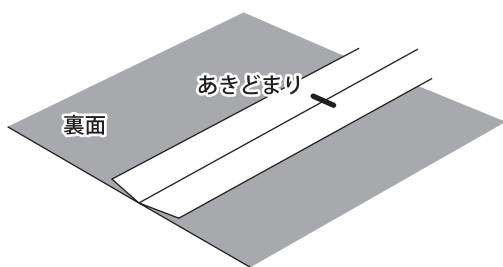


- ・ファスナー付け押えを使用する際は、中基線の直線縫い模様【001】以外は使用出来ません。
中基線の直線縫い以外を使用すると、針が折れ危険です。
- ・ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針が押えに当たらないことを確認してください。
- ・押え交換時は電源スイッチを『OFF』にしてください。突然動くケガをする恐れがあります。
- ・針先に注意してください。ケガをする恐れがあります。

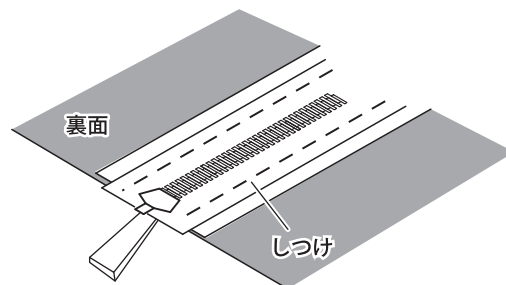


押え	模様表示
	001 — └─┘ 中基線
ジグザグ押え	

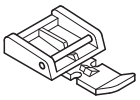
- 1** 縫い模様を中基線の直線縫い模様【001】にします。
中表に2枚の生地を合わせ、ファスナーのあきどまりまで直線縫いをします。
ファスナーを取り付ける部分はしつけをしておきます。



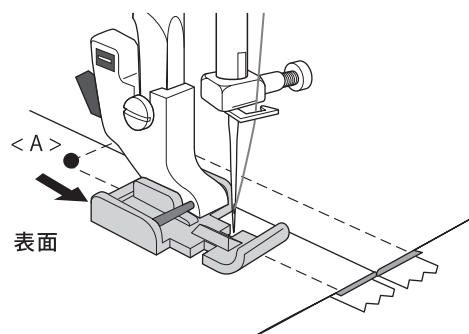
- 2** 縫い合わせを開きアイロンをかけます。



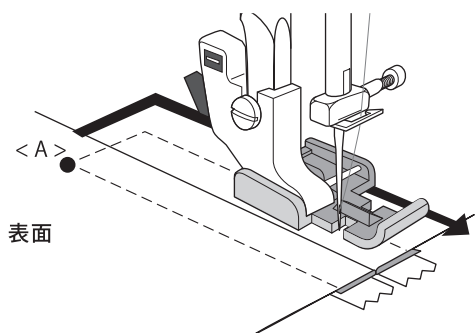
- 3** 開いた部分にファスナーの裏面が上になるようにしつけをします。

押え	模様表示
	001 — └─┘ 中基線
ファスナー付け押え	

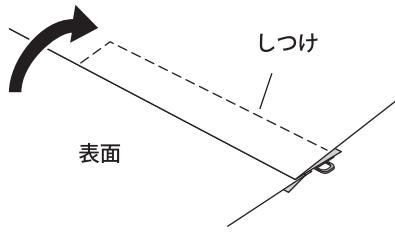
- 4** 『ファスナー付け押え』に交換します。(P7参照)
* ファスナーの左側を縫う際は、
『ファスナー付け押え』の右部分を使用します。
* 縫い目の長さを1.0以上にします。



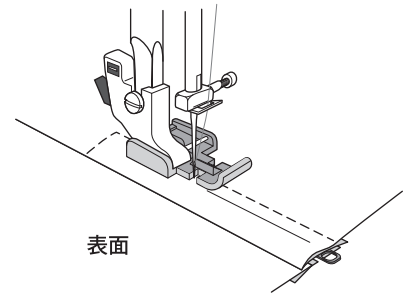
- 5** ファスナー左を< A >から矢印の方向へ縫います。
生地につき合わせから7~10mm離し縫います。



- 6** 『ファスナー付け押え』を左側に付け替え、
ファスナー右を< A >から矢印の方向へ縫います。
しつけ糸を抜きます。



6 上生地を開き、ファスナーを閉じてからあき止まりとファスナー右部分をしつけをします。



7 『ファスナー付け押え』を左側に付け替え、裏に隠れたファスナー右部分を縫い付けます。しつけ糸を抜きます。

コンシール®ファスナー付け

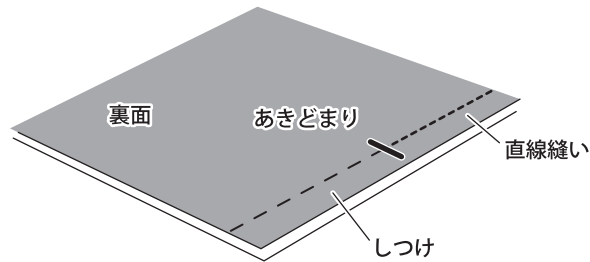
押え	模様表示
<p>コンシール® ファスナー付け押え</p>	<p>001</p> <p>中基線</p>

注意

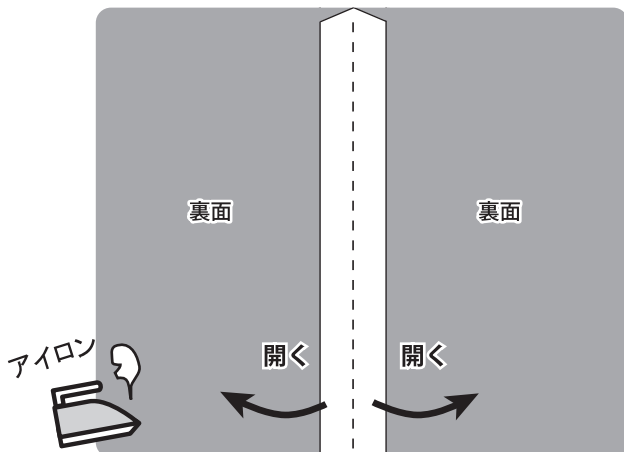


- コンシール®ファスナー付け押えを使用する際は、中基線の直線縫い模様 <001> 以外は使用出来ません。中基線の直線縫い以外を使用すると、針が折れ危険です。
- ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針が押えに当たらないことを確認してください。
- 押え交換時は電源スイッチを『OFF』にしてください。突然動くとケガをする恐れがあります。
- 針先に注意してください。ケガをする恐れがあります。

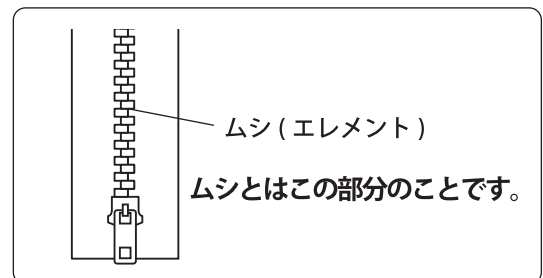
押え	模様表示
<p>ジグザグ押え</p>	<p>001</p> <p>中基線</p>



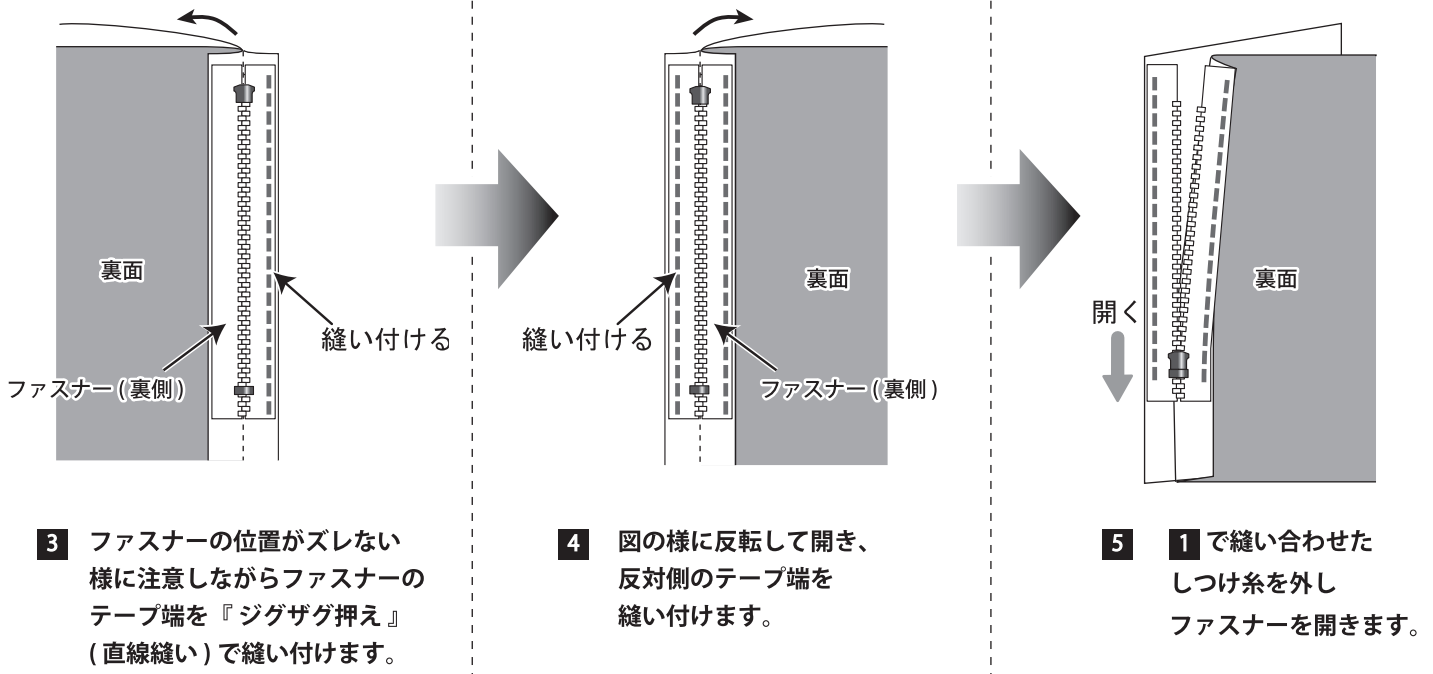
1 縫い模様を中基線の直線縫い模様【001】にします。
中表に2枚の生地を合わせ、ファスナーのあき止まりまで直線縫いをします。
コンシール®ファスナーを取り付ける部分はしつけをしておきます。



2 **1** で縫い合わせたところをアイロンで割ります。

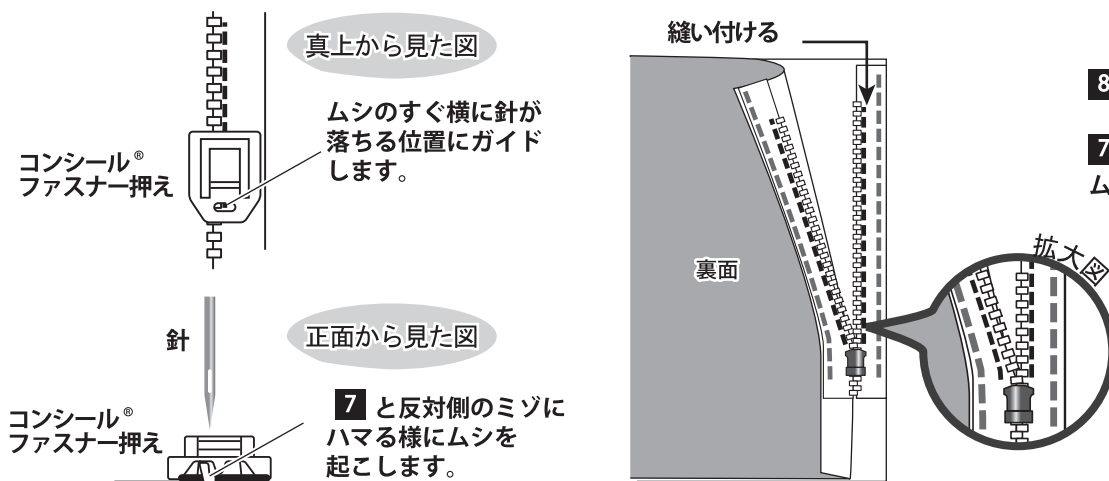
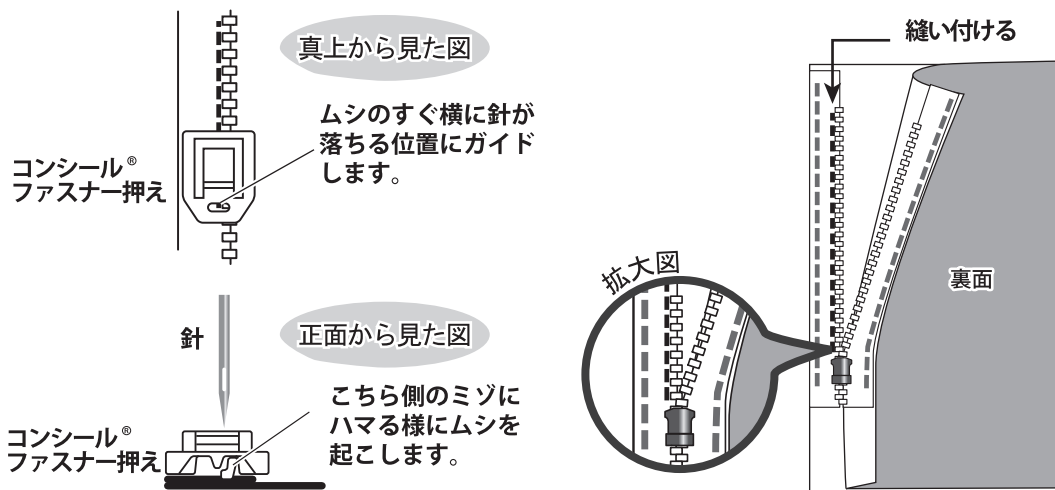


* コンシールは YKK 株式会社の商標です。



押え	模様表示
<p>コンシール® ファスナー付け押え</p>	<p>001</p> <p>中基線</p>

6 『コンシール® ファスナー付け押え』に交換します。(P7 参照)



* コンシールは YKK 株式会社の登録商標です。

ボタンホール縫い

ボタンの大きさにあったボタンホールを縫う事が出来ます。ボタンホールの形はボタンの大きさや形によって8種類のボタンホール縫いから選べます。



注意



- ・押え交換時は電源スイッチを『OFF』にする。突然動くとかガをする恐れがあります。
- ・針先に注意する。ケガをする恐れがあります。

ボタンホール押え	模様表示							
	薄地		普通地				厚地	
	007	011	008	009	012	014	010	013

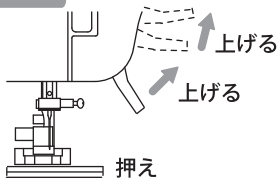
注意

縫い損じを防ぐため、製品に縫う前に必ず別生地でボタンホールを作り、ボタンが通るかご確認ください。

ポイント

伸縮性の生地や薄い生地は不織布（芯地）を裏に貼るとよりきれいに仕上がります。

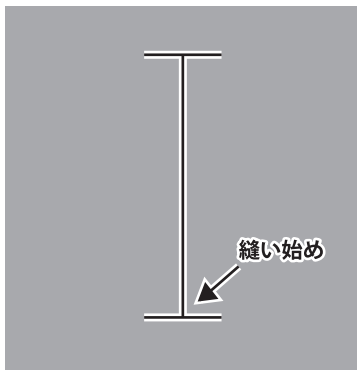
準備



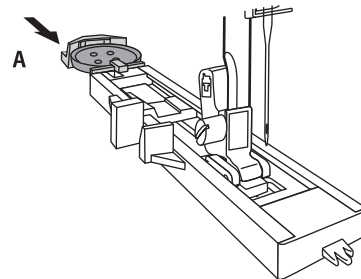
押え上げレバーを上げ
押えをボタンホール押えに
交換します。
(押え上げレバーは2段目まで
上げてください。P7 参照)



電源スイッチを『ON』にし、
針上下ボタンで針を上げます。
すぐに、電源スイッチを
『OFF』にします。

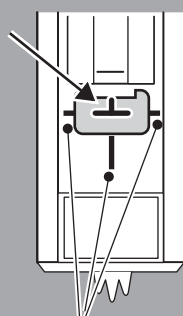


- 1 ボタンホールを作る生地に印を付けます。
* ボタンの大きさに印を付けておくと、縫う方向を間違えません。



- 2 ボタンを『ボタンホール押え』の台にセットします。
* 『ボタンホール押え』の台はAの部分のみ前後に動かせます。
* ボタンに厚みがある際は、ボタンの厚み分を広げてください。

生地の印

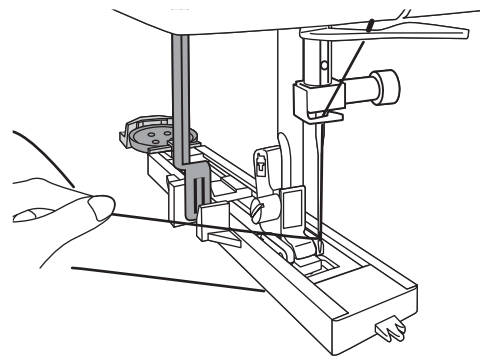
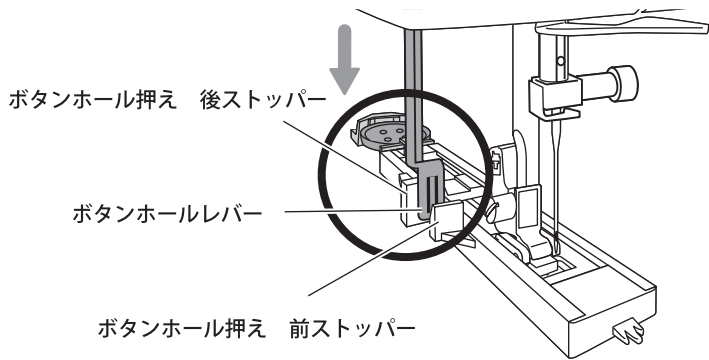


ボタンホール押えのマーク

3

生地につけたボタンホールの印が押えの窓より見えるようにして、生地を置きます。
『ボタンホール押え』のマークに合わせ、『押え上げレバー』で『ボタンホール押え』を下げます。

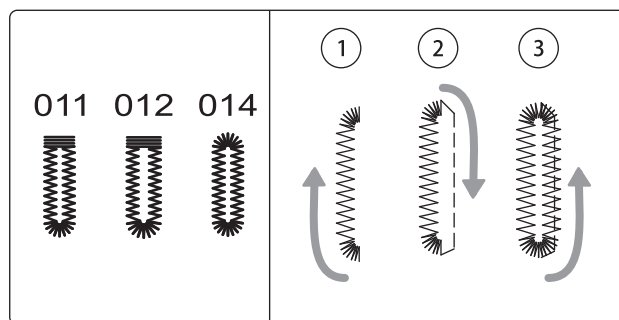
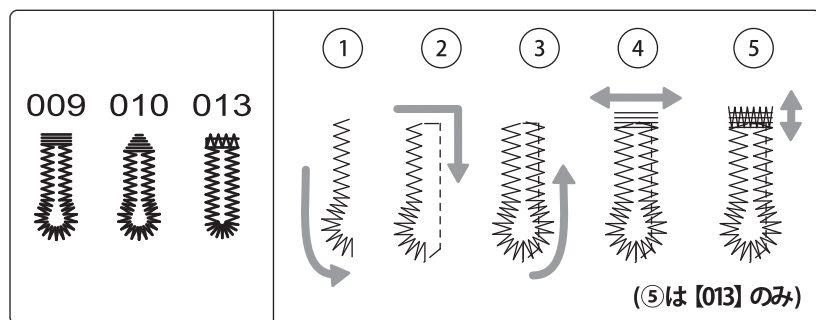
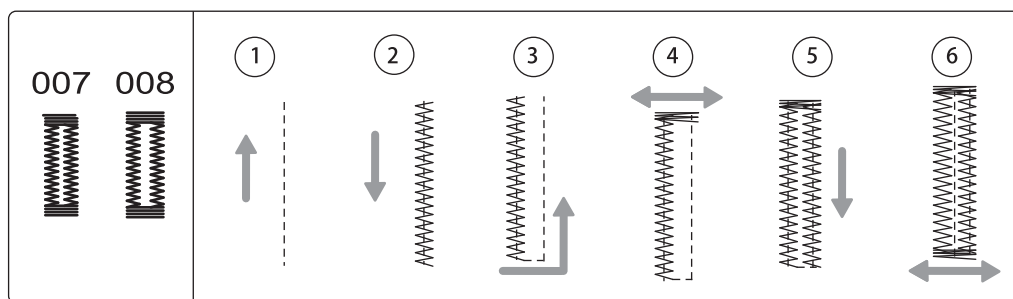
- * 印が斜めになっていると、ボタンホールが斜めに作られますのでご注意ください。



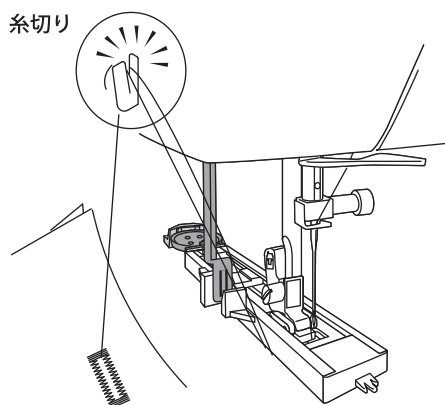
4 『ボタンホールレバー』を下までいっぱいに下げます。

* 『ボタンホールレバー』は『ボタンホール押え』の前後のストッパーの間に設置します。
設置位置が間違っていると、ミシンが動きません。

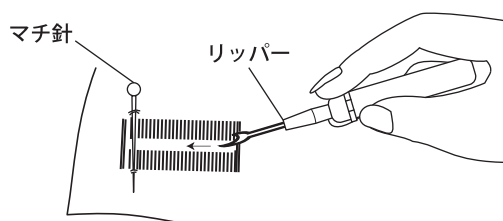
5 上糸を軽く持ち、縫い始めます。
針が5回ほど上下したところで一度ミシンを止め、
持っている上糸を切ります。
(この際『ボタンホールレバー』には触れないでください。)
再度、『START(スタート)/STOP(ストップ)』を
押し縫い始めます。



6 ボタンホールは『START(スタート)/STOP(ストップ)』を押すと、図のような順序で縫っていきます。
ボタンホールが完成するとミシンは自動で停止します。



7 針が完全に停止したのを確認し、
『押え上げレバー』で『ボタンホール押え』を
上げ、糸切りで糸を切ります。



8 ボタンホールの穴に付属の『リッパー』を刺し、
押しながらボタン穴を切り開きます。
* マチ針をかんぬき部分に刺しておく、
切り開き過ぎを防げます。

針の取り替えかた

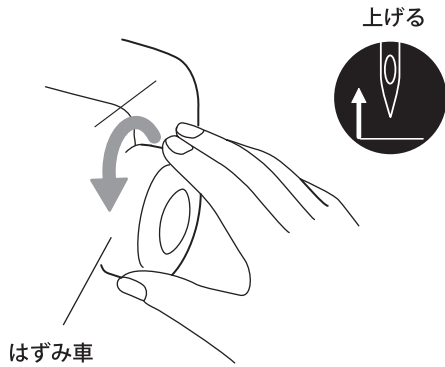
注意



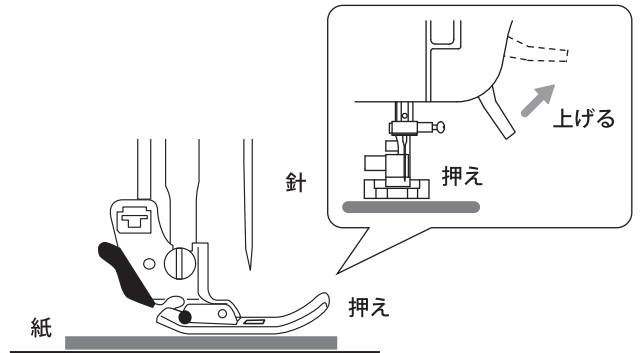
・電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜く。
突然動くとケガをする恐れがあります。



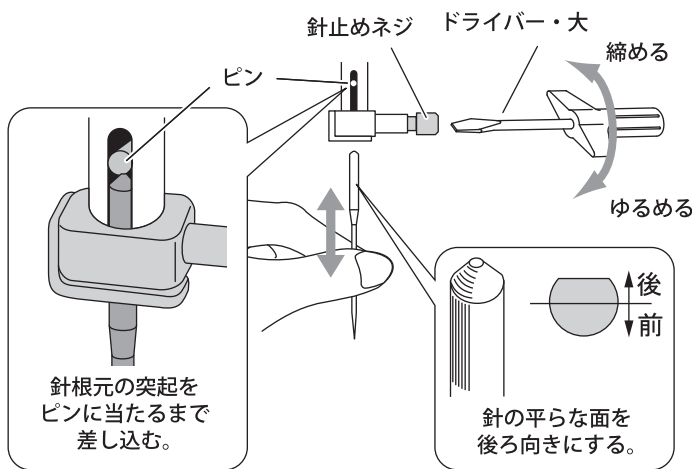
・針先に注意する。ケガをする恐れがあります。
針は平らな面を後ろ向きに付ける。
針が折れ、ケガをする恐れがあります。また、縫い目が出来ず縫えません。
針を交換する際は専用部品で交換する。
縫っている際に針が抜け、ケガをする恐れがあります。



1 『はずみ車』を手前に回し、針を最上位にします。



2 『押え上げレバー』を上げ、針が穴に落ちないように『押え』の下に生地や紙などを敷き、『押え上げレバー』を下げます。

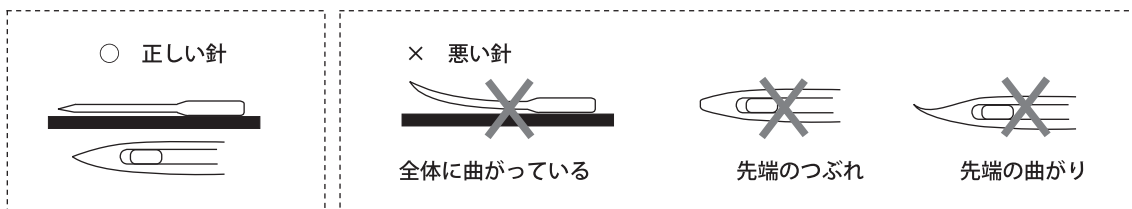


3 外す : 取り付けられている針を持ち、『針止めネジ』をゆるめ、針を下に引き抜きます。
付ける : 平らな面を自分から見えなように持ち、『ピン』に当たるまで差込み、『針止めネジ』を締めます。

* 付属の『ドライバー・大』をご使用ください。

正しい針の選びかた

・曲がった針は使わないでください。 ・家庭用ミシン針 (HA×1) をご使用ください。
・目飛び、糸絡みがある場合は、ミシンについている針先が曲がっていたり、つぶれていないかを確認してください。
・不良の針を使い続けると、きれいに縫えないばかりでなく、針板や釜に傷をつけます。
新しい針に交換してください。








* ガラスのような平らな面に置き、針の曲がり具合を確認してください。

ボビンケースのそうじ

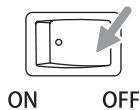
● ボビンケースの外しかた

ミシン本体の汚れは、やわらかい生地で乾拭きしてください。
 (住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、化学雑巾は表面の色が変わるため、ご使用しないでください。)

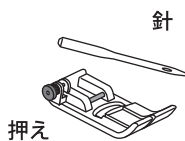
 <h3 style="margin: 0;">注意</h3>	 	<p>・電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜く。 突然動くとケガをする恐れがあります。</p>
	 	<p>・針先に注意する。ケガをする恐れがあります。</p>

準備

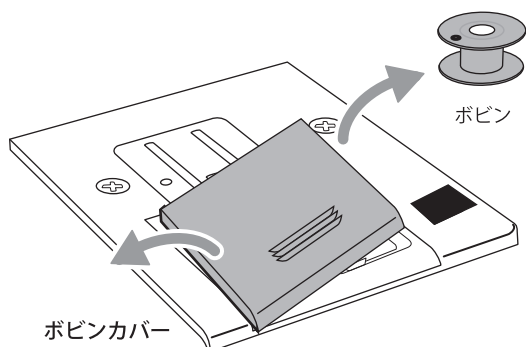
電源スイッチ



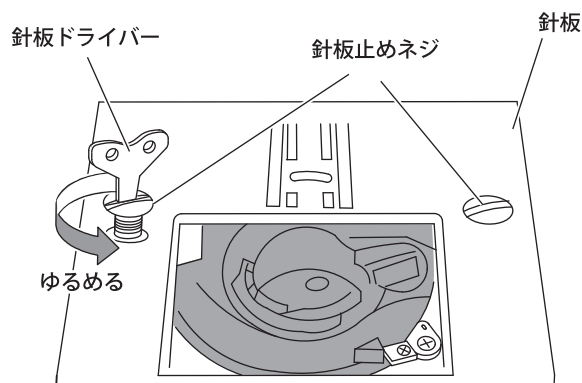
電源スイッチを『OFF』にし、電源コードプラグをコンセントから抜きます。



押えと針を外します。
 (P7・P39 参照)

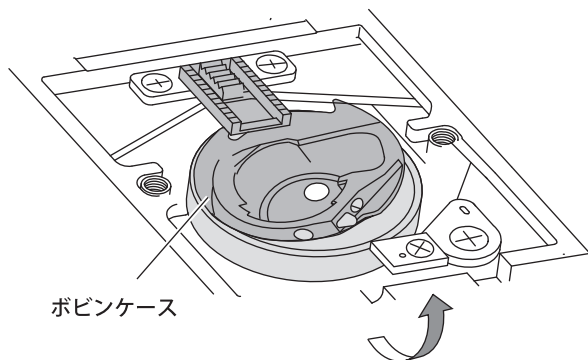


1 『ボビンカバー』を外し、『ボビン』を取り出します。

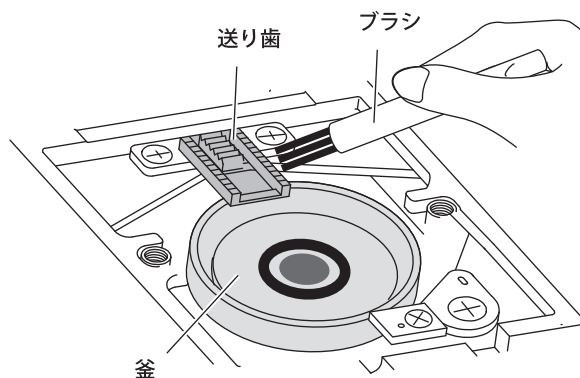


2 『針板止めネジ』を『針板ドライバー』でゆるめ、『針板』を外します。

『針止めネジ』をミシン内部に落とさないよう注意してください。




3 『ボビンケース』を手前に引き抜きます。





4 『ボビンケース』『送り歯』のミズや『釜』に付いている糸くずやホコリを取り除きます。



● ボビンケースの付けかた



注意

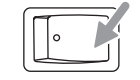
・電源スイッチを『OFF』にし電源コードプラグをコンセントから抜く。
突然動くとケガをする恐れがあります。

・針先に注意する。ケガをする恐れがあります。

準備

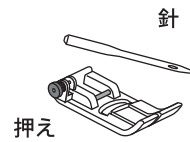
電源スイッチ



ON OFF



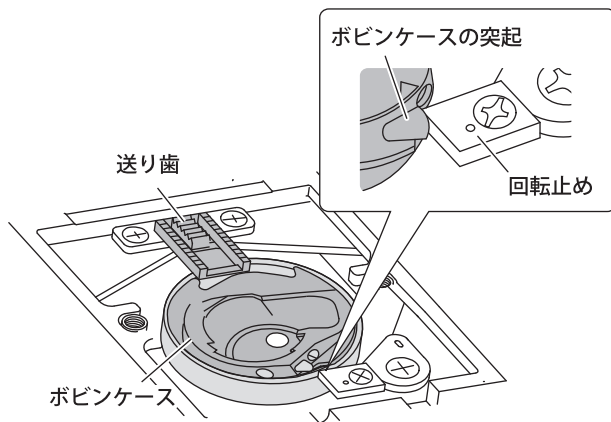
電源スイッチを『OFF』にし、電源コードプラグをコンセントから抜きます。



押え

針

押えと針を外します。(P7・P39 参照)

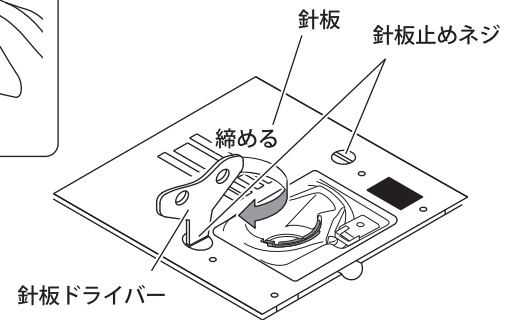


- 1** 『ボビンケース』の突起部が釜の回転止めに合うようにセットします。

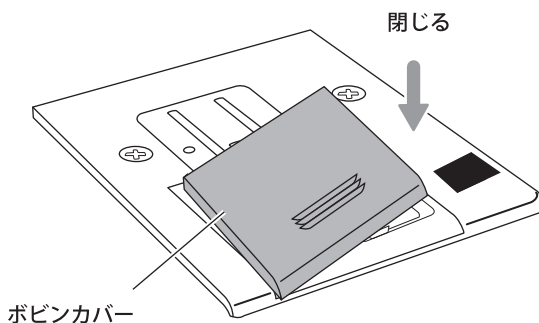
* 『釜』に『ボビンケース』を乗せた際に水平になるようにします。



はずみ車



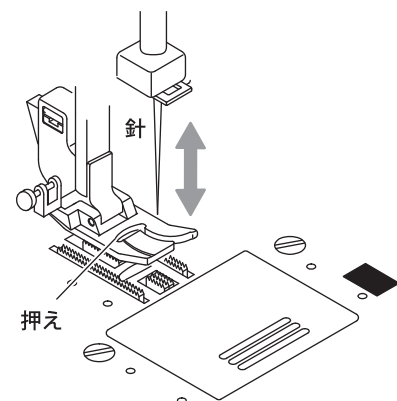
- 2** 『はずみ車』を回し、スムーズに回るか確認後『針板止めネジ』を『針板ドライバー』で締め、『針板』を取り付けます。



閉じる

ボビンカバー

- 3** 『ボビンカバー』を閉じます。



- 4** 針と『押え』を取付け、『はずみ車』を再度手前に回し針が針穴に正しく刺さることを確認します。

(押えの取り付け方法：P7 参照／針の取り付け方法：P39 参照)

縫い模様一覧

001	002	003	004	005	006	007	008	009	010	011	012	013	014	015	016	017	018	019	020
021	022	023	024	025	026	027	028	029	030	031	032	033	034	035	036	037	038	039	040
041	042	043	044	045	046	047	048	049	050	051	052	053	054	055	056	057	058	059	060
061	062	063	064	065	066	067	068	069	070	071	072	073	074	075	076	077	078	079	080
081	082	083	084	085	086	087	088	089	090	091	092	093	094	095	096	097	098	099	100
101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120
121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140
										A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160
161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180
<i>A</i>	<i>B</i>	<i>C</i>	<i>D</i>	<i>E</i>	<i>F</i>	<i>G</i>	<i>H</i>	<i>I</i>	<i>J</i>	<i>K</i>	<i>L</i>	<i>M</i>	<i>N</i>	<i>O</i>	<i>P</i>	<i>Q</i>	<i>R</i>	<i>S</i>	<i>T</i>
181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200
<i>U</i>	<i>V</i>	<i>W</i>	<i>X</i>	<i>Y</i>	<i>Z</i>	□	/	.	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220
あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と
221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240
な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り
241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260
る	れ	ろ	わ	を	ん	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎ	じ	ず	ぜ	ぞ	だ	ぢ	づ	で
261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272								
ど	ば	び	ぶ	べ	ぼ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	や	ゆ	よ	っ	年	組	番	保	育
273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292
幼	稚	園	小	中	学	校	高	君	才	名	前								

- ・直線押えは 001 のみが使用可能
- ・006 018 019 029 は縁かがり押え、ロックカッターが使用可能
- ・007～014 はボタンホール押え、023～272 はサテン押え（透明）を使用
- ・□ 167 は一文字分のスペース（空白）です。

困ったときは…

不具合	原因	処理	頁
上糸が切れる	上糸、下糸の掛けかたが間違っている。	上糸、下糸を正しく掛け直す。	14～17
	上糸の調子が強すぎる。	上糸の調子を適度に弱める。	20
	ボビンケースや釜に糸くずが絡んでいる。	ボビンケースや釜の糸くずを取り除く。	40～41
	針が曲がっている。針先が欠けている。	新しい針に交換する。	39
	糸に結び目やコブがある。	結び目やコブの部分を取り除く。	-
	針や糸が生地に合わせていない。	生地に合った針と糸を使用する。	19
	種類の異なったボビンを使用している。	種類の合ったボビンを使用する。	4・44
	糸が劣化している。	新しい糸に取り替える。	-
下糸が切れる	下糸の掛けかたが間違っている。	下糸を正しく掛け直す。	14
	種類の異なったボビンを使用している。	種類の合ったボビンを使用する。	4・44
	ボビンケースや釜に糸くずが絡んでいる。	ボビンケースや釜の糸くずを取り除く。	40～41
縫い目がとぶ	針の取り付けかたが間違っている。	正しく針を取り付ける。	39
	針が曲がっている。針先が欠けている。	新しい針に交換する。	39
	針や糸が生地に合わせていない。	生地に合った針と糸を使用する。	19
	上糸の掛けかたが間違っている。	上糸を正しく掛け直す。	15～17
生地がシワになる	上糸の調子が強すぎる。	上糸の調子を適度に弱める。	20
	上糸、下糸の掛けかたが間違っている。	上糸、下糸を正しく掛け直す。	14～17
	針や糸が生地に合わせていない。	生地に合った針と糸を使用する。	19
生地を送らない	送り歯にホコリが溜まっている。	送り歯のホコリを取り除く。	40～41
	送り歯が下がっている。	送り歯をあげる。(ドロップフィード)	6
ボタンホールが出来ない	ボタンホールレバーがボタンホール押え ストッパーに当たっていない。	ボタンホール押え外枠の手前隙間をなくす。 ボタンホールレバーを前後ストッパーの間に設置する。	38
模様の形がくずれる	ジグザグ押えを使用している。	サテン押えを使用する。	25
生地裏の糸が タオル状になる	上糸の調子が強すぎる。	上糸の調子を適度に弱める。	20
	上糸の掛けかたが間違っている。	上糸を正しく掛け直す。	15～17
	上糸の調子が弱すぎる。	上糸の調子を適度に強める。	20
回転が重い	釜や送り歯にホコリが溜まっている。	釜や送り歯のホコリを取り除く。	40～41

不具合	原因	処理	頁
ミシンが動かない (ライトも点灯しない)	電源コードプラグの差し込みが不十分。	電源コードプラグをしっかりと奥まで差す。	9
	電源スイッチが『OFF』になっている。	電源スイッチを『ON』にする。	9
ミシンが動かない (スタートランプが 青にならない)	下糸巻き軸が右になっている。	下糸巻き軸を左にする。	14・18
	押えが上がっている。	押えを下げる。	7
	ボタンホール縫い模様になっている。	ボタンホール縫い模様以外の模様にする。	-
	ボタンホール縫い模様を選択し、 ボタンホール押えが付いていない。	ボタンホール押えを取り付ける。	37～38
	ボタンホール押えの手前枠に隙間がある。	押え上げレバーを上げ、ボタンホールの 手前枠を押しながら下げる。	38
	ボタンホールレバーを下げていない。	ボタンホールレバーを下まで下げる。 (ボタンホール縫いのみ)	38
	ボタンホールレバーが上がっていない。	ボタンホールレバーを上まで上げる。 (ボタンホール縫い以外の模様)	38

これらの現象、原因以外の不具合はミシン内部の調整や部品の磨耗による交換または電気系統の故障が原因となっている可能性があります。ご購入店またはお客様相談係にご相談ください。

仕様

型式： FL-8600	サイズ： H29.2×W44×D20cm	重量： 7.3kg	電源コード： コードリール式(約2m)
最大振り幅： 7mm	最大送り量： 5mm	返し縫い送り量： 3.5mm	ボタンホール： ワンステップ
定格電圧： 交流 100V	定格周波数： 50/60Hz	定格消費電力： 85W	使用針： 家庭用ミシン針 (HA×1)
セーフティロック： モーターロック後<3秒>で停止		回転速度： 100～900rpm	
ボビン： 家庭用プラスチックボビン (高さ 11.5×直径 20.5mm)		釜タイプ： 水平全回転釜	

修理サービス要領

●修理サービスのご相談

1. このミシンのご購入者には、ご購入店から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保存してください。
2. 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。
3. 修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、ご購入店または、お客様相談係へお申しつけください。

●修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

●無料修理保証期間後の修理サービス

1. 取扱説明書に基づいて、正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
 - イ. 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - ロ. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - ハ. ご購入後の移動または輸送によって不調、故障、損傷したとき。ニ. ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
2. 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によって元どおりに修復できないことがあります。
3. 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。

お問い合わせまたはご相談先

ミシンについてのお問い合わせ、ご相談はご購入店のほか、下記の弊社「お客様相談係」でも承っておりますのでご遠慮なくお申し越してください。

株式会社 アックスヤマザキ 「お客様相談係」

〒544-0022 大阪府大阪市生野区舍利寺3-12-5
TEL. 06-6717-5851 FAX. 06-6741-7875

- * 住所および電話番号は都合により変更することがありますのでご了承ください。
- * 純正部品の購入についてのお問い合わせは、ご購入店のほか、上記の弊社「お客様相談係」におたずねください。

サービス工場のご案内



純正部品のご購入は、購入店または下記のサービス工場へお申し込みください。

ご購入頂きましたミシンは、下記の専門工場で点検修理等の サービスを致します。

なお、サービスには有償修理点検と無償修理点検とがあります。サービス工場にお問合せください。

※ ミシンを工場へ送付されるときは、このミシンの箱と緩衝材（クッション）をご利用ください。

送付先

〒544-0022 大阪府大阪市生野区舍利寺 3-12-5 TEL:06-6717-5851 FAX: 06-6741-7875

株式会社 アックスヤマザキ ミシンサービス係 行き

月～金曜日 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00

(土曜/日曜/祝祭日休み)

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

ミシン 保証書

型 式	FL-8600	機 械 番 号		ご購入後には※印欄への記入の有無をご確認下さい。 記入がない時はご購入日、またはお届け日が証明できる伝票等を添付してください。 本書は再発行致しません。 紛失しないように大切に保管して下さい。
※お買い上げ日	年 月 日	保 証 期 間	お買い上げ日より本体 1年	
※お客様	ご住所	〒 _____ TEL _____ 様方		
	フリガナ ご芳名	_____ 様		
※販売店	住 所	〒 _____		
	店 名	_____ TEL _____		

無料修理保証に付いて

1. 無料修理保証期間（ご購入の日から1ヵ年間）内に故障が発生した場合は、無料で故障箇所の修理調整、または故障部品の交換をいたします。
2. 無料修理保証は表記ミシン頭部のみとし、ケース、針及び電球、消耗部品を除きます。
3. 無料修理保証をお受けいただくときは、この保証書を提示してください。
4. 保証機種がコンパクトミシンまたは、軽量可搬のポータブルミシン等であるときは、そのミシンを購入店へご持参、またはご相談ください。

無料修理保証が受けられない場合

次のような場合には、保証期間内でも保証の対象とはなりません。

1. 「取扱説明書」に記載してある使用方法または、保存方法と異なる方法によったため不調、故障または損傷したとき。
2. 浸水、冠水、火災、天災地変により不調故障または損傷したとき。
4. ご購入店、または当社で指定した販売店、サービス店以外で修理分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
6. 特別なご依頼により点検、精密検査または分解掃除等をしたとき。
7. この保証書のご提示がなかったとき。
8. この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。
9. この保証書の字句の訂正または書き換えをしたとき。
10. この保証書は日本国内に限り有効といたします。This warranty is valid only in Japan.

有償修理について

1. 上記の1.～10.に該当する場合、その他有料で修理するときの費用は、別に定める必要部品出張費および技術料の合計額といたします。
2. コンパクトミシンまたは、軽量可搬のポータブルミシンを、無料修理期間中にお客さまのご依頼によって販売店が出張修理する場合は、別に定める出張費をいただきます。

お問い合わせまたはご相談先

この保証書に記載してありますご購入店または、取扱説明書の「サービス工場のご案内」に記載された「お客さま相談係」へお申越してください。

お客さまへのお願い

1. この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客さまの権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について、ご不明の場合はご購入店または、当社の「お客さま相談係」等へお問い合わせください。
2. 「取扱説明書」の「修理サービス要領」をよくお読みください。
3. この保証書は紛失されても再発行いたしませんので、大切に保存してください。



【保証責任者】株式会社 **アックス ヤマザキ**

〒544-0022 大阪府大阪市生野区舍利寺 3-12-5

TEL : 06-6717-5851